

の推 柱注	項重 目点	取 組	行動計画	振返りの視点	実施回数・参加者数等 R2年度未現在	実施回数・参加者数等 R元年度未現在	(参考) 実施回数・参加者数等 H30年度未現在	実施主体	事業名・取組名	事業概要	令和2年度 実施計画	令和2年度 取組結果
健 や か に 過 ご せ る ま ち	健 康 寿 命 を 延 ば す た め の 健 康 づ く り を 進 め る	1  そ れ ぞ の 年 代 に 応 じ た 健 康 づ く り	「よこはまウォーキングポイント事業」と運動しながら、ウォーキングをはじめとした運動を日常生活の中で習慣化できる区民を増やします。 →運動やウォーキングなどの健康づくりを取り入れた生活習慣が送れる区民を増やします。	運動等を習慣化する区民を増やすための取組	【健康づくり】 ・メタボ予防講座 3回 (11/14・12/5・1/25)26人 ・和泉川健康のみちオープニングイベント(3/20)110人	【健康づくり】 ・メタボ予防講座(7/6:10人) ・栄養食生活講座(8/24:10人) ・運動・歯周病予防講座(9/7:12人) ・イーヨーカドー健康チェック(6/11:65人)	【健康づくり】 ・メタボ予防講座(7/7:10人) ・栄養食生活講座(8/25:10人) ・運動・歯周病予防講座(9/28:21人) ・メタボ予防講座(10/27:8人)	区福祉保健課	健康ウォーキング事業 健康づくり推進事業	保健活動推進委員会と連携して、地域において健康づくり活動を支援する取組を行います。	【健康づくり】 ・保健活動推進委員会と連携し、地域での健康づくりの体操教室やウォーキングなどの継続的に実施するとともに、応急措置講習会やロコモ予防等の研修などの取組を支援していきます。 ・働き子育て世代への健康づくりや生活習慣病予防等の講座を実施します(4回)	働き・子育て世代を対象に、生活習慣病予防のための運動・ウォーキングを取り入れた健康づくり講座を、参加しやすい日時に開催しました。 健康のみちオープニングイベントでは、健康のみちの紹介だけでなく、楽しみながら健康づくり・介護予防に活用できるよう、ウォーキング講座も開催しました。
			「バランスよく食べる」「塩分少なめ」「野菜たっぷり」の食習慣づくりを目指します。	食習慣づくりの取組	【健康づくり】 ・区民のための食事相談(月2回)331人 ・食生活改善指導講習会 4回(9/26・1/26・1/27・2/6)74人	【健康づくり】 ・区民のための食事相談(月2回) ・地場野菜を使った料理教室 いずみ野地域CP(7/17:33人) 講場地域CP(10/11:49人) 泉寿荘(11/6:16人) 上飯田地域CP(12/4:29人)	【健康づくり】 ・区民のための食事相談(月2回) ・地場野菜を使った料理教室 新橋地区(9/28:22人) 上飯田地域ケアプラザ(10/30:16人) 中田コミュニティハウス(11/24:26人) 下和泉地区(2/2:31人)	区福祉保健課	食習慣の改善事業	ヘルスメイトと連携して、地域において地場野菜をつかった料理教室を開催します。	【健康づくり】 ・区民のための食事相談(月2回) ・地場野菜料理教室を食生活等改善推進委員会に運営委託しより身近な場所での実施(4回)	自身の食事や栄養について気になる方や、医療機関からの紹介で食事指導が必要な方などに対して、生活習慣病予防・健康維持のための食事相談を行いました。 食生活等改善推進員(ヘルスメイト)と協力し、各地域にて食生活改善指導講習会を開催しました。
			禁煙活動を推進するとともに、子どもの喫煙防止教育を進めます。	啓発実績 喫煙防止教育への取組	【健康づくり】 ・生活習慣相談での禁煙相談(月1回)	【健康づくり】 ・生活習慣相談での禁煙相談(月1回) ・イベントにおける禁煙相談(6/6) ・小学校での喫煙予防教室の開催(2校) 飯田北いちよう小、上飯田小	【健康づくり】 ・生活習慣相談での禁煙相談(月1回) ・イベントにおける禁煙相談(6/7) ・小学校での喫煙予防教室の開催(2校) 飯田北いちよう小、上飯田小	区福祉保健課	健康横浜21推進事業	禁煙の取組の推進と受動喫煙を避ける環境づくりを進めます。	【健康づくり】 ・禁煙、受動喫煙防止を推進するため、区民ホールイベントでの禁煙相談や啓発の実施(6/4) ・小学校での喫煙・受動喫煙防止教室(2校)	区庁舎1階に常設している健康づくりコーナー等で禁煙や受動喫煙防止の啓発を行いました。
			乳幼児健診時の保護者への健康づくりの啓発として、口腔ケア・ブラッシング指導、食生活相談、乳がんの自己触診方法指導などの予防啓発を進めます。	啓発実績	【健康づくり】 ・4か月健診時でのお口のセルフケア(406人) ・3歳児健診時での乳がん自己触診法等の体験及び骨密度測定の実施(1,231人) ・みんなの健康アップ!フェスティバルでの子どものフッ素塗布と歯科相談(6/6)	【健康づくり】 ・4か月健診時でのお口のセルフケア(510人) ・3歳児健診時での乳がん自己触診法等の体験及び骨密度測定の実施(1,231人) ・みんなの健康アップ!フェスティバルでの子どものフッ素塗布と歯科相談(6/7)	【健康づくり】 ・4か月健診時でのお口のセルフケア(510人) ・3歳児健診時での乳がん自己触診法等の体験及び骨密度測定の実施(1,231人) ・みんなの健康アップ!フェスティバルでの子どものフッ素塗布と歯科相談(6/7)	区福祉保健課	乳幼児健診時の保護者への健康づくり事業	4か月児健診時での保護者への口腔ケア啓発及び3歳児健診時での保護者への個別相談・乳がん・子宮がんの啓発を行います。	【健康づくり】 ・4か月健診時で来所する保護者に対して口腔ケア・ブラッシング指導の実施(月2回) ・3歳児健診時での乳がん自己触診法等の体験及び骨密度測定の実施(月2回) ・泉区歯科医師会と連携して、子どもフッ素塗布と歯科相談(1回)	子育て世代の保護者を対象に、乳幼児健診時を活用した健康啓発を行いました。4か月健診時には口腔ケア啓発、3歳児健診時には食事相談や健康測定の実施、乳がんの自己触診方法の体験等を行いました。
			がん検診や生活習慣病予防の啓発を地域の各種イベント及び区民まつりなどで実施します。	啓発実績	【健康づくり】 ・イベント等でのがん検診啓発の実施 ・センターでの肺がん健診の実施(3回)	【健康づくり】 ・区民ふれあいまつり(11/3)、各地域のイベント等でのがん検診啓発の実施 ・センターでの肺がん検診の実施(6回)	【健康づくり】 ・区民ふれあいまつり(11/3)、各地域のイベント等でのがん検診啓発の実施 ・センターでの肺がん検診の実施(5回)	区福祉保健課	がん検診啓発事業	生活習慣病である「がん」をはじめとした生活習慣病に関する啓発を行います。	【健康づくり】 ・地域のイベント等でのがん検診の啓発(随時) ・区民まつり等での啓発(11/3)	地域のイベント等において、大腸がん、胃がんをはじめとした様々ながんの予防及び検診の啓発を実施しました。
介 護 予 防 の 推 進	元 気 な う ち か ら 介 護 予 防 に 取 り 組 む 区 民 を 増 やす た め 、 講 演 会 や イ ベ ン ト の 実 施 等 を 通 じ た 普 及 啓 発 を 図 り ま す。  ロ コ モ テ ィ ン ド ロ ー ム の 予 防 を 呼 び か け、 そ の 防 止 を 実 践 す る 区 民 を 増 や し ま す。  健 康 長 寿 を 目 指 し て、 そ の 大 切 さ に 気 づ き、 健 康 づ く り を 実 践 す る た め の 講 演 会 の 実 施 や、 グ ル ー プ 活 動 へ の 支 援 を 行 い ま す。	講演会、介護予防教室等の参加者数	【高齢者支援担当】 ・講演会 5回 286人 ・健康教育 24回 1109人 ・介護予防教室等 3回 83人	【高齢者支援担当】 ・講演会 2回 98人 ・健康教育 36回 865人 ・介護予防教室等 12回 209人	区高齢・障害支援課	地域づくり型介護予防事業	講演会や各種講座を通して、元気な高齢者から虚弱な高齢者を対象に介護予防(ロコモ・認知症)の知識普及・啓発を行います。	【高齢者支援担当】 ・近年注目されている「フレイル」に着目し、「フレイル予防講演会」を実施します。講演会で得た知識を実践するために、各地域ケアプラザにて「フレイル予防講座」を実施します。その学びを継続できるよう、地域の身近な場所で行われている介護予防に資する住民運営の通いの場(健康体操や高齢者サロンなど)の情報を集めた「元気の秘訣!お役立ちガイド」を配布し参加をおすすめします。	【高齢者支援担当】 ・各種イベント(健康アップフェスティバル、JA健康測定会等)で体力測定を実施し、ロコモ予防の必要性について気づく機会を提供します。 ・各種イベント(健康アップフェスティバル、愛護会のつどい等)でロコモ予防プログラム「ハマトレ体験編」の体験コーナーを実施し、日常生活に取り入れていただけるようリーフレットやDVD貸出等啓発媒体を紹介しします。	【高齢者支援担当】 ・コロナ禍で講演会や講座の開催が困難だったため、「フレイル予防」「オーラルフレイル予防」のチラシを作成して後援高齢者に配布し、普及啓発に努めました。 「元気の秘訣!お役立ちガイド」を区役所及び地域包括支援センターで配布していますが、コロナ禍で地域活動が流動的な状況で利用推進までできていませんでした。		
		講座の参加者数	【高齢者支援担当】 ・講演会・教室等は中止	【高齢者支援担当】 ロコモ予防のイベント 5回 310人	【高齢者支援担当】 ロコモ予防のイベント 5回 239人	区高齢・障害支援課	地域づくり型介護予防事業	講演会や各種講座を通して、元気な高齢者から虚弱な高齢者を対象に、介護予防(ロコモ・認知症)の知識普及・啓発を行います。	【高齢者支援担当】 ・各種イベント(健康アップフェスティバル、JA健康測定会等)で体力測定を実施し、ロコモ予防の必要性について気づく機会を提供します。 ・各種イベント(健康アップフェスティバル、愛護会のつどい等)でロコモ予防プログラム「ハマトレ体験編」の体験コーナーを実施し、日常生活に取り入れていただけるようリーフレットやDVD貸出等啓発媒体を紹介しします。	【高齢者支援担当】 ・コロナ禍でイベントが中止・縮小となったため、広報コラムで「ロコモ予防」について掲載し周知に努めました。 DVD貸出について、チラシ配架により周知に努めました。		
		グループの立ち上げ支援 グループ活動の取組事例	【高齢者支援担当】 元気づくりステーション 継続 11カ所(岡津) [GOGO健康講座]ハマトレ 16回参加者延べ127名 栄養編2回 参加者延べ13名 口腔編2回 参加者延べ8名 (上飯田) 継続支援 2カ所 ・健好クラブ 29回 341名 ・麦の会 16回 218名 (新橋) ・健康畑ひまわり 3回延べ人数37名 ・ふまねっと4回 延べ人数37名 (いずみ中央) 新たなグループの立ち上げ支援なし。	【高齢者支援担当】 元気づくりステーション 継続 12カ所 男のハマトレマスター講座 5回 72人 支援者向けハマトレマスター講座 1回 28人  (新橋)・健康畑ひまわり11回 延べ参加人数189名 ふまねっと14回 延べ参加人数253名 (いずみ野)元気づくりステーション「おはなしほけっと」が月に2回 計21回実施。 12回を保育園とグループホーム、特別養護老人ホームでの読み聞かせの活動をおこない、その支援を行いました。(新型コロナウイルスの関係で3回分の活動は中止となった。) (下和泉) ・元気づくりステーション「下和泉麻雀クラブ」32回 延べ参加人数1129名 ・元気づくりステーション「歌ごえサポーターズ」48回 延べ参加人数845名 (踊場) 元気クラブ 中村健康マーじゃん すこやかサロン	【高齢者支援担当】 ・継続 9カ所 4,154人参加 ・H30年度新規 3カ所(いずみ中央) 元気づくりステーション「よくばりクラブ」毎月3回スクエアステップ・筋トレを中心として、健康測定会、ロコモ予防講座、座式太極拳等様々なメニューに取組むことが出来ました。 (下和泉) ・元気づくりステーション「下和泉麻雀クラブ」10回 延べ参加人数380名 ・元気づくりステーション「歌ごえサポーターズ」11回 延べ参加人数169名 ・下和泉健康づくり教室7回 延べ参加人数183名 ・しもずく健康づくり講座10回 延べ参加人数179名 (上飯田) 継続支援3カ所、運営相談やプログラムメニュー等を通して活動を支援。 健好クラブ 48回 628人 スマイル 24回 172人 麦の会 24回 570人 (新橋) ・健康畑ひまわり5回・104人 ・ふまねっとサークル3回・60人 【いずみ野】 「おはなしほけっと」が月に2回活動を行いました。	【高齢者支援担当】 ・継続 9カ所 4,154人参加 ・H30年度新規 3カ所(いずみ中央) 元気づくりステーション「よくばりクラブ」毎月3回スクエアステップ・筋トレを中心として、健康測定会、ロコモ予防講座、座式太極拳等様々なメニューに取組むことが出来ました。 (下和泉) ・元気づくりステーション「下和泉麻雀クラブ」10回 延べ参加人数380名 ・元気づくりステーション「歌ごえサポーターズ」11回 延べ参加人数169名 ・下和泉健康づくり教室7回 延べ参加人数183名 ・しもずく健康づくり講座10回 延べ参加人数179名 (上飯田) 継続支援3カ所、運営相談やプログラムメニュー等を通して活動を支援。 健好クラブ 48回 628人 スマイル 24回 172人 麦の会 24回 570人 (新橋) ・健康畑ひまわり5回・104人 ・ふまねっとサークル3回・60人 【いずみ野】 「おはなしほけっと」が月に2回活動を行いました。	区高齢・障害支援課 地域ケアプラザ	元気づくりステーション事業	介護予防の必要性と具体的な取組内容について啓発を行う。グループ活動を通し、高齢者が地域の中で人とつながりながら健康で生きがいのある活動的な生活を送れることを目指します。	【高齢者支援担当】 介護予防の必要性と具体的な取組内容について啓発を行います。グループ活動を通し、高齢者が地域の中で人とつながりながら健康で生きがいのある活動的な生活を送れることを目指します。  (新橋)既存の2グループが円滑に活動を継続できるように引き続き後方支援します。 (いずみ野) 「おはなしほけっと」が月に2回活動している。1回は練習、もう1回は午前泉保育園と午後はグループホームやまももと白寿荘での絵本の読み聞かせをしているので支援をしていきます。 ・地域のサロンやシニアクラブなどに目標、月15ヶ所参加します。また活動が衰退しているサロンの支援をしていきます。 (いずみ中央)よくばりクラブでは、通常プログラムの他に、特別プログラムとして「格闘技エクササイズ」を導入して活動を実施する予定。 (上飯田) ・継続して活動支援を行うとともに、地域住民に身近に参加できる場として周知していく。 (踊場)元気づくりステーションが継続開催できるように、区役所と情報共有しながら、後方支援を行います。 (岡津)元気づくりステーションのねらいに沿った立ち上げの支援を検討します。	【高齢者支援担当】 元気づくりステーションは、休止の時期もあり、参加者は減少していますが、活動は継続できています。活動のスキルアップを行うため、パートナー研修やセラピストによる講義等を予定していましたが、コロナ禍でほぼ中止となっています。感染症予防に努めながら、普段の活動を継続できるような支援することが中心となりました。 地域の自主活動も自発する所が多くありました。感染症予防の講座を行う等、活動の再開を支援しましたが、地域により開催のバラツキが続いています。  (いずみ野) ・元気づくりステーション「お話ほけっと」 ・コロナ禍のなかで、保育園やグループホームや白寿荘等での訪問支援活動が出来なかった。 ・地域のサロンやシニアクラブ等への訪問や衰退しているサロンの支援がコロナ禍のなかで、訪問先での活動が休止したため、月15回の目標達成出来なかったが、コロナ禍で外出出来なくなった地域住民に対し、チラシ等での情報発信を行った。 【岡津】 元気づくりステーションのねらいに沿った活動が停滞してしまったため、次年度を検討します。介護予防活動の普及啓発のため介護予防講座をおこないました。 (上飯田) コロナ禍の中で社会とのつながりが希薄になることが懸念されたが、8月から活動を開始し定期的に実施できた。 (新橋) コロナ禍で活動を行うにあたって円滑に活動できるように、支援者とのコミュニケーションを密に取った。また、緊急事態宣言下での活動自粛後の再開に向けての支援を行った。 (いずみ中央) コロナ禍のため、新たな介護予防活動グループの立ち上げはなし。	

の推 柱進	項重 目点	名取 組	行動計画	振り返りの視点	実施回数・参加者数等 R2年度末現在	実施回数・参加者数等 R元年度末現在	(参考) 実施回数・参加者数等 H30年度末現在	実施主体	事業名・取組名	事業概要	令和2年度 実施計画	令和2年度 取組結果
1	1	3	認知症の正しい理解、予防のための生活習慣についての啓発を進めていきます。	講演会の実施、参加者数	【高齢者支援担当】 区としての実施はなし 包括エリアでの講座は2包括 で実施。	【高齢者支援担当】認知症サポーター養成講座2回 計16名(包括支援センター2カ所実施)	【高齢者支援担当】 認知症サポーター養成講座2回 89名	区高齢・障害支援課	認知症啓発講演会	認知症についての正しい理解を図り、予防の大切さと、地域の支え合いの気持ちを醸成します。	【高齢者支援担当】 ・認知症初期集中支援チームと協力し、包括エリア毎に認知症講座を開催します。 ・サポーターに対し、GHのボランティア等を紹介をする。	【高齢者支援担当】 初期集中支援チーム員とともに、3カ所の包括で認知症講座を開催しました。認知症の正しい知識や対応の仕方について普及啓発することができました。 コロナ禍のため、グループホームがボランティア受け入れを中止していたため、つなげることはできませんでした。
健康やかに過ごせるまち	健康寿命を延ばすための健康づくりを進める	認知症の予防・早期発見	認知症の理解、予防の普及啓発活動を支援します。	活動支援のための取組 脳若返り隊員数	【高齢者支援担当】 ・講演会・教室等は中止 (岡津) 認知症サポーター養成講座1回22名 (下和泉) ・認知症カフェ「ぼかぼかサロン」7回(9月～3月):116名 ・認知症サポーター養成講座1回15名 ・下和泉エリアキャラバンメイト連絡会 0回 ・認知症啓発講座 1回:36名 ・認知症予防ひばり会(おしゃべり会) 6回:51名 (新橋) 新橋エリア認知症キャラバンメイト連絡会2回(会議×1、書面開催×1) (いずみ中央)	【高齢者支援担当】 認知症予防プログラム体験講座2回103名 (新橋) ・認知症キャラバンメイト連絡会3回 ・認知症サポーター養成講座4回158名 (いずみ野) ・ケアプラザ、自治会、横浜銀行、シニアクラブ連合で認知症サポーター養成講座を実施しました。(5回) ・オレンジリングを持っている人向けにサポーターステップアップ講座を2回連続講座を実施しました。 ・スリーAを普及するための講座を白寿荘にて実施(4回) ・はつらつスリーA教室を実施し(6回)、10月以降は自主化への話し合いを2回持った。 (下和泉) 認知症カフェ「ぼかぼかサロン」11回 延べ参加人数366名 ・認知症サポーター養成講座 3回 延べ参加人数 140名 ・下和泉エリアキャラバンメイト連絡会 3回 (上飯田) ・脳いきいき教室活動支援 5カ所(踊場) 踊場会議(認知症医療介護相談カフェ)1回43名 認知症サポーター養成講座:1回 13名	【高齢者支援担当】 認知症予防プログラム体験講座2回103名 (いずみ中央) ・サポーター養成講座 16回・計912名 ・地域組織の育成・支援 25回・ 258人 (いずみ中央) ・サポーター養成講座 16回・計912名 ・サポータースキルアップ講座 1回・計51名 (下和泉) 認知症カフェ「ぼかぼかサロン」12回 延べ参加人数350名 ・認知症サポーター養成講座6回 延べ参加人数256名 ・下和泉エリアキャラバンメイト連絡会5回 (上飯田) ・サロンのボランティアや担い手のスキルアップ研修および連絡会の実施 2回 31名 ・脳いきいき教室の活動支援 5カ所(新橋) ・認知症サポーター養成講座3回146名 ・認知症キャラバンメイト連絡会3回(踊場) 中田地区社協との共催で認知症サポーター養成講座を開催。ふまねっと運動の活動支援。 (いずみ野) ・認知症サポーター養成講座 8回 ・サポーターの フォローアップ研修 2回 ・認知症カフェ デ・アイ 月1回	区高齢・障害支援課 地域ケアプラザ	地域づくり型介護予防事業 認知症支援事業	脳と体の若返り教室、認知症予防講演会を実施します。	【高齢者支援担当】 ・認知症講座を開催し、理解・普及啓発活動を行います。(再掲) ・フレイル予防の視点を普及啓発を行い、認知症予防にもつながる活動参加の紹介を行います。 (新橋)エリアキャラバンメイト連絡会3回 (いずみ野) ・11月認知症と介護予防の講演会を開催します。 ・区とほうゆう病院と連携し、「認知症介護相談」を行います。 ・スリーA体験講座(全3回)の開催をします。 ・地域のシニアクラブ、サロン、自治会などに行う出張前講座等で認知症サポーター養成講座の開催を検討します。 (いずみ中央)サポーター養成講座・スキルアップ講座の継続実施。 (下和泉) ・認知症カフェ「ぼかぼかサロン」12回(月1回) 認知症の正しい知識の普及と認知症当事者の活躍の場として活用します。 ・認知症サポーター養成講座 4回 ・下和泉エリアキャラバンメイト連絡会 4回 ・認知症講演会 1回(調整中) ・認知症予防ひばり会(おしゃべり会) 月1回 認知症の早期発見早期対応につなげます (上飯田) ・脳いきいき教室の運営・活動支援 ・教室の担い手やボランティアにスキルアップ研修実施 ・認知症理解を深めるため講演会の開催 (踊場) 踊場会議(認知症医療介護相談カフェ)1回開催予定。 (岡津) ・認知症講演会(区に講師依頼)1回 ・認知症サポーター養成講座2回	【高齢者支援担当】 コロナ禍で講演会や講座の開催が困難だったため、「フレイル予防」オーラルフレイル予防のチラシを作成して後居高齢者等に配布し、普及啓発に努めました。 (いずみ野) ・3月に認知症の対応と予防の講演会を実施した。 ・認知症介護相談を1月に実施した。 ・スリーAの後方支援とスリーA体験講座(全3回)を開催し、延べ30名参加した。 ・地域のシニアクラブ、サロン、自治会などに行う出張講座等は自治会館、集会所がコロナ禍のため利用ができず、開催に至らなかった。 ・認知症サポーターへのフォローアップとしてのステップアップ講座については、3月の講演会と合同で実施した。 (岡津) ・認知症サポーター養成講座を協力医や認知症認定看護師に依頼し11月に1回実施。参加者22名。認知症にならないためと受講された高齢者が多かった。 ・認知症予防活動として、やってみよう!コグニサイズ講座を開催しました。 (下和泉) ・認知症カフェ「ぼかぼかサロン」会場を下和泉連合町内会館に替え、再開。毎回、役員いっしょの地域住民が受講。認知症に関連した情報コーナーが好評でした。 ・認知症サポーター養成講座「おでかけサポーター連続講座」3日間のうち、1日を認知症講座にあてました。サロンや地域行事への同行など、自分ごととして興味を持ってイメージすることができました。 ・下和泉エリアキャラバンメイト連絡会。当地区のキャラバンメイトは事業所職員が多く、新型コロナウイルスの流行により、連絡会の開催は困難でした。地域住民のキャラバンメイトを増やすことが今後の課題です。 ・認知症講演会、ケアプラザが展開する事業をご案内し、自発的に認知症に認知症当事者やそのご支援者へのサポーターへの意欲があるかアンケートをとった結果、約半数の15名から前向きな回答を得ることができました。 ・認知症予防ひばり会(おしゃべり会) 包括から話題提供することで参加者が課題に気づく機会となり、早期発見・対応の布石となりました。 (新橋) 感染症予防対策との両立が必要であった。登録しているメイトの減少に伴い、参加者確保が課題であった。
			認知症の早期対応のため、専門医等による相談対応を行います。	相談件数	9回 相談件数7件 【岡津】 認知症に関する相談18件 協力医の相談会:認知症に関する相談4件 【上飯田】 115件 【いずみ中央】 55件	【高齢者支援担当】 12回・相談件数13件 (新橋) 相談件数 80件 (いずみ野) 110件 (いずみ中央) 認知症に関するべ相談件数 約80件 (上飯田) ・111件 (踊場) 相談件数:44件	【高齢者支援担当】 12回・相談件数12件 (いずみ中央) 130件 (下和泉) 486件 (上飯田) 122件 (新橋) 17人 (踊場) 相談件数 80件 (いずみ野) 相談件数100件	区高齢・障害支援課 地域ケアプラザ	物忘れ相談	精神科医師による認知症等に関する相談を行い、早期発見・治療につなげます。	【高齢者支援担当】 ・もの忘れ相談及びもの忘れ検診の周知を行い、早期発見に努めます。 ・相談先について広報等で周知します。 ・ケアマネ等関係機関への相談先周知を継続し、早期治療を目指します。 (新橋)認知症初期集中支援チームに相談連携 ・ 区の物忘れ相談につなげる(いずみ野)相談対応時、オレンジガイドや他ツールを使いながら、早期に認知症専門医療につなげられるよう支援していきます。必要時、認知症初期集中支援チームの情報提供や活用していきます。 (いずみ中央)相談の中で必要時専門医に繋がられるよう情報提供を行います。 (上飯田) ・総合相談より認知症の早期発見、受診に繋がられるよう必要性を周知します「物忘れ相談や認知症初期集中支援チームの情報提供を行っています。 (踊場) 認知症等に関する相談を受けた時、早期治療につながるよう、認知症初期集中支援チーム会議への結び付けを行います。 (岡津) ・認知症初期集中支援チーム会議への参加を通して、区内の情報収集を行い、区の物忘れ相談や認知症介護相談へ繋げる。	【高齢者支援担当】 チラシや広報を活用し、もの忘れ相談及びもの忘れ検診の周知を行い、区からの早期相談につながりました。 ケアマネ等関係機関への相談先周知を行い、早期治療につなげました。 (いずみ野) 相談対応時、オレンジガイドや他ツールを使いながら、早期に認知症専門医療につなげられるよう支援した。 必要時、認知症初期集中支援チームに情報提供等を行った。 (下和泉) ・認知症初期集中支援チームに、必要とされる相談を2件つなげました。また相談対応時、過時物忘れ検診への案内を行い、早期発見早期治療に結び付けよう働きかけました。 ・民生委員の定例会に毎回参加し、民生委員と情報共有を密にするとともに、総合相談業務で収集した相談傾向や事例を共有することで民生委員の気づきの視点を醸成し、早期発見早期介入の実現を目指しました。 【上飯田】 物忘れの相談などから早期発見、早期治療につながるよう情報提供を行った。月一回新たな「ごどうの会」を立ち上げ勉強会を実施したことで会員より認知症の方の情報が増えた。また、対応の仕方の学びの場にもなり地域の意識が高まりつつあります。 (いずみ中央) 認知症状態はあるものの主治医がいない方に対しては、診ていただける病院や専門医を紹介しました。

の推 柱 進	項 目 点	名 取 組	行動計画	振返りの視点	実施回数・参加者数等 R2年度末現在	実施回数・参加者数等 R元年度末現在	(参考) 実施回数・参加者数等 H30年度末現在	実施主体	事業名・取組名	事業概要	令和2年度 実施計画	令和2年度 取組結果
	2	1	安心して暮らし続けられる環境をつくる	相談件数	【こども家庭支援課】 1,618件	【こども家庭支援課】 533件(2月末現在)	【地域子育て支援拠点における個別相談件数】 604件	区こども家庭支援課	地域子育て支援拠点事業	未就学児とその養育者の居場所、相談、情報提供、さらに地域で子育てを応援している人のネットワークや人材育成を行っています。	【こども家庭支援課】 地域子育て支援拠点が行う子育て相談の他、役割・機能(ひろば、子育て情報収集・提供、子育てネットワークづくり、人材育成・活動支援、横浜子育てサポートシステム、利用者支援事業(横浜子育てパートナー))について、より多くの区民の皆様にご案内いただき、また利用いただくことで、子育て支援の充実を図ります。	地域子育て支援拠点の活動周知および子育て世帯の利用促進を目的に、区主催の母親教室や、区内子育てサロン等の様々な場を活用し、情報発信しました。また、「こどもは赤ちゃん訪問」や母子訪問員や保健師・助産師等の訪問や個別相談時にも周知を図りました。子育て支援拠点がホームページやSNSを活用し、積極的に情報発信できるように努めました。
			より多くの場所で専門的な相談を受け止める体制づくりや相談窓口の周知を進めます。	相談件数	【こども家庭支援課】 571件	【こども家庭支援課】 608件(2月末現在)	【こども家庭支援課】 727件	区こども家庭支援課	子ども・家庭支援相談	乳幼児期から学齢期までの悩みごとに、保健師・保育士・学校カウンセラー・教育相談員などが幅広く相談に応じます。	【こども家庭支援課】 早期の相談により、問題を拡大させず適切な支援を行っていくために「子ども・家庭支援相談」のリーフレットを作成し、保育園児、幼稚園児、小学生、中学生の保護者に配布することを通じて、相談窓口をPRしていきます。	保育園や小中学生等のリーフレットの配布及びホームページへの掲載、SNSでの発信により相談窓口のPRを行いました。
			様々な相談に対応できるよう、関係機関の職員等を対象とした研修会等を開催し、相談対応者の対応能力の向上を図ります。	相談件数	【こども家庭支援課】 施設開放 209回 子育て相談 503回 育児講座 7回 交流保育 0回 子育てサークル活動等の育成・支援 2回 (全て常設園のみ)	【こども家庭支援課】 令和元年度 施設開放 354回 子育て相談 679回 育児講座 47回 交流保育 26回 子育てサークル活動等の育成・支援 26回 (全て常設園のみ) (2月末現在)	30年度 施設開放 360回 子育て相談 927件 育児講座 47回 交流保育 33回 子育てサークル活動等の育成・支援 27回(全て常設園のみ)	区こども家庭支援課	保育所地域子育てひろば事業	施設の地域開放、子育て相談、育児講座、園児との交流保育等の実施をします。	【こども家庭支援課】 家庭で保育を行っている養育者への支援として、保育施設で地域開放や育児講座、子育て相談等を実施します。	施設開放、子育て相談等を通じ、多くの保護者(養育者)への育児支援を行いました。
1	2	1	健康やかに過ごせるまち	研修の企画・実施の実施回数	【高齢者支援担当】 ・新任ケアマネジャー向け研修 2回 12人参加 ・7包括合同研修 3回 ①介護保険制度改正のポイント ②ICFの理解 ③精神疾患について (新橋) 区内合同新任ケアマネ研修2回開催 (岡津) ・区内包括合同で新任ケアマネジャー向け研修を2回開催 ・介護予防従事者研修を実施。 (上飯田) ・包括合同・他包括・単体包括でスキルアップの研修を9回実施。 (下和泉) ・下和泉CPケアマネ連絡会 2回 2回:14名 ・区内包括合同ケアマネ連絡会 3回:117名 (6回開催予定のうち3回はコロナの影響により中止) ・新任ケアマネジャー研修 2回:24名(新任ケアマネジャーのみ)	【高齢者支援担当】 ・新任ケアマネジャー対象の研修を、全3回で実施。13名参加(全回参加は8名) ・区内ケアマネジャー向けに6包括合同で研修を6回実施。 (新橋) 区内6包括合同、新(いずみ野)区包括合同で新任ケアマネ研修を開催し、介護保険外サービス、施設見学会、同行訪問を実施しました。任ケアマネ研修2回 (下和泉) ・包括合同・他包括・単体包括でスキルアップの研修を9回実施。 (いずみ野) ・区内6包括合同ケアマネ研修 6回 ・新任ケアマネジャー向け研修 3回 ・下和泉CPケアマネ連絡会 2回 (上飯田) ・新任ケアマネ研修 全3日間で1回 ・事例検討会1回 ・民生委員との意見交換会1回 (踊場) 新任ケアマネジャー向け研修(区内包括主任ケアマネジャー合同で開催):3回	【高齢者支援担当】 ・新任ケアマネジャー向け研修 3回 ・6包括合同研修 5回 (いずみ中央) ・区内包括合同で、新任CM研修3回実施。 ・新任CM研修3日目は、エリア内居宅の民生委員との同行訪問を担当してもらった。(下和泉) 区内6包括合同新任ケアマネ研修3回(上飯田) 新任ケアマネ研修会 1回 事例検討会 1回 民生委員との交流機会 2回開催 (新橋) 6包括合同で新人ケアマネ研修(3日間)実施 (いずみ野) ・区内包括合同で新任ケアマネ研修を実施(3回) (踊場) 区内包括合同で新任ケアマネ研修を実施する。(2回)	区高齢・障害支援課 地域ケアプラザ	新任ケアマネジャー研修 主任ケアマネジャースキルアップ研修	関係機関職員を対象にした研修を実施することで、相談職員のスキルアップを図ります。	【高齢者支援担当】 ・新任ケアマネジャーのスキルアップのため包括主任ケアマネジャーと連携し、新任ケアマネジャー向けに介護保険外サービス等についての研修を行います(全3回コースで実施予定)。 ・相談・調整技術スキルアップのため区内ケアマネジャー向けに6包括合同で研修を6回実施します。 (新橋)区内7包括合同新人ケアマネジャー研修 3回 (いずみ野)区包括合同で、新任ケアマネ研修を3回行います。3日目の同行訪問には主任ケアマネジャーの協力を得て行います。 (いずみ中央) 区包括合同で、新任CM研修3日の実施。 (上飯田) ・新任ケアマネ研修を区内包括合同により、全3日間で1回 ・その他、民生委員との意見交換会や事例検討会を行う。 (踊場) 区内包括主任ケアマネジャー合同で、新任ケアマネジャー向けの研修を開催します。 (岡津) ・ケアマネジャースキルアップのための研修等を8回開催。(包括合同・岡津ケアマネサロン) ・区内包括主任ケアマネジャー合同で新任ケアマネジャー研修2回実施。	【高齢者支援担当】 開催可能な時期に、感染症予防に努めながら講義形式で研修会を行いました。 オンライン研修開催についてのアンケートを行い、今後の開催方法の検討を行いました。 対面研修や意見交換が重要であることを再確認しました。 (いずみ野) 区包括合同で、新任ケアマネ研修を3回行った。 3日目の同行訪問には主任ケアマネジャーの協力を得て行いました。 (岡津) ・区内包括合同で新任ケアマネジャー向け研修を2回開催 ・包括合同・他包括・単体包括でスキルアップの研修を9回実施。 (いずみ中央) ・コロナ禍のため例年行っていた、2日目「施設見学」、3日目「同行訪問」は実施せず。 ・介護保険外サービス・社協について・医療連携について生活困窮について・元気かい泉について・在宅医療相談室について、の講義を実施し、新任ケアマネジャーのスキルアップにつなげた。
			様々な相談に対応できるよう、関係機関の職員等を対象とした研修会等を開催し、相談対応者の対応能力の向上を図ります。	連絡会・研修会の実施回数	(岡津) ・区内包括合同ケアマネ連絡会(新任ケアマネジャー支援研修を含む)7回 ・複数包括合同研修 2回。 ・協力医とケアマネジャーの交流会を2回。 (上飯田) ・民生委員とケアマネジャー向けの勉強会 ・Zoomを使ってオンラインでの事例検討会 ・連言と相談 合同で「ICF」介護保険制度改正]についての研修会を実施。 (新橋) 「街の駅ケアマネサロン」4回実施 計51名参加「ほっこりサロン(ケアマネ情報交換会)」3回実施 計25名参加 (いずみ中央) ・区包括合同ケアマネジャー研修 3回。 ・他の包括合同ケアマネジャー研修等 2回。	(新橋) 「街の駅ケアマネサロン」4回 区内包括合同ケアマネ連絡会 5回 (いずみ野) ケアマネジャーのスキルアップを図るとともにケアマネジャー同士のネットワーク構築を図るため、区包括合同や他ケアプラザと合同で年11回ケアマネ連絡会を開催しました。 (下和泉) ・下和泉CPケアマネ連絡会 3回 (CP協力医による相談会・移動スーパー) ※3回のうち1回は新型コロナウイルスの感染拡大の影響で開催中止 ・区内包括合同ケアマネ連絡会 6回 (上飯田) ・単独、区内包括合同開催を合わせて連絡会を9回実施。 ・感染症予防対策により計画のみで未実施1回 (踊場) 単独開催:6回、合同開催5回	(いずみ中央) ・区包括合同のケアマネ連絡会:6回 ・エリア合同のケアマネ連絡会:4回 (下和泉) 下和泉CPケアマネ連絡会 3回 区内包括合同ケアマネ連絡会 6回 (上飯田) 他の包括との合同での勉強会 9回 地域の特性を考え民生委員との情報交換(2回) 事例検討会(1回)開催 (新橋) 「街の駅 ケアマネサロン」 4回実施 ・(包括フォンテ合同含め) 11回 (踊場) 単独開催・区内包括合同開催 計11回 (いずみ野) 区包括合同、他ケアプラザと共催で連絡会を11回	地域ケアプラザ	包括エリアのケアマネジャー連絡会 新任ケアマネジャー支援研修等の開催	介護保険ケアマネジャーを対象とした情報共有、スキルアップの研修を企画・実施します。	(新橋) ・区包括合同ケアマネ連絡会6回 ・「街の駅ケアマネサロン(情報交換会を含む)」11回 (いずみ中央) 包括合同等で、CM連絡会を9回実施。 (上飯田) ・区内全包括または複数包括合同による連絡会を8回。 ・その他、事例検討会や民生委員との意見交換会など、圏域で活動するケアマネの資質向上に向けた取り組みを行っていく。 (新橋) ケアマネジャー同士の情報交換の場、スキルアップ、研修などを目的にケアマネ連絡会を開催します。(単独・区内包括合同開催) (岡津) ・区内包括合同、複数包括、単独包括でケアマネジャーの資質向上のための連絡会を8回。 ・協力医とケアマネジャーの交流会を3回。	(岡津) ケアマネジャーの資質向上のための取組をしました。 ・区内包括合同ケアマネ連絡会(新任ケアマネジャー支援研修を含む)7回 ・複数包括合同研修 2回。 ・協力医とケアマネジャーの交流会を2回。 (下和泉) ケアプラザ協力医とケアマネジャーとの懇話会を開催し、参加者からは「変換されている利用者の状況を知ることができ、今後の対応にとても役立った」、「担当ケースの対応について検討でき勉強になった」といった感想が聞かれ、ケアプラザ協力医と地域で活動するケアマネジャーとの関係構築につながりました。 下和泉CPを外勤のケアマネ事業所による合同事例検討会を開催し、双方の事例ケースの検討を行い、様々な視点から支援策を出し合うことで、アセスメント力の向上につながりました。 (新橋) 事業所の垣根を越えてケアマネジャー同士の連携支援のための情報交換会「ほっこりサロン」をとくにテーマを決めず開催したところ反響が大きかった。 (いずみ中央) ・コロナ禍のため、年間計画通りには実施できなかったが、感染症対策等に配慮しながら、ケアマネジャースキルアップのための研修を実施した。
			公的サービスの相談だけでなく、様々なニーズに対応できるよう、インフォーマルサポートやボランティア活動等のサービスの仕組みづくりを進めます。	仕組みづくりの取組	(区社協) 研修会 2回 地域活動団体向けアンケートの実施 泉区児童支援専任教諭・生徒指導専任教諭協議会に出席(7回) 地域サロン等への支援	(区社協) 身近・共生社会を考える研修会 2回 食事サービス情報交換会 1回 生活支援ボランティア育成講座1回(全3回) 泉区児童支援専任教諭・生徒指導専任教諭協議会に出席(4回) 地域サロン等への支援	・こども家庭支援課担当係長、SSWとの意見交換…1回 ・近隣地区ケアマネジャー研修会…1回	区社協	身近な地域のつながり・支え合い活動の推進	ボランティアセンター、あんしんセンター、移動情報センター等で相談を受けると共に、把握した個別のニーズを地域のインフォーマルサービスにつなぐ仕組みづくりを進めます。	【区社協】 ・個別のニーズを地域の課題として地域で受け止め、「ちょこボラ」(住民同士の助け合い)活動団体の立ち上げを支援します。	【区社協】 コロナ禍で立ち上げ支援には至りませんでした。が、地域活動団体へのアンケートを実施し活動状況の把握を行いました。会議参加や研修を通じてコロナ禍での地域活動の継続の工夫について情報提供・共有を行いました。

の推 柱進	項重 目点	名取 組	行動計画	振り返りの視点	実施回数・参加者数等 R2年度末現在	実施回数・参加者数等 R元年度末現在	(参考) 実施回数・参加者数等 H30年度末現在	実施主体	事業名・取組名	事業概要	令和2年度 実施計画	令和2年度 取組結果
		2 妊 娠 期 か ら の 切 れ 目 の な い 子 育 て 支 援	<p>養育者が安心して子育てできるよう、母子健康手帳交付や、乳幼児健診等の機会を活用し、適切な支援につなげます。</p> <p>養育者の多様な保育・教育ニーズに対してきめ細かな相談、情報提供等を行います。</p> <p>新入生とその保護者が小学校入学による生活や環境の変化にスムーズになじめるよう、保育園・幼稚園・認定こども園・小学校・放課後キッズクラブ・放課後児童クラブ等の相互連携をさらに進めていきます。</p> <p>孤立や疾病等による育児不安から児童虐待につながるリスクを減らし、有効な支援につなげるために、広報や講演会等による啓発を進めていきます。</p>	<p>母子訪問時の養育チェックシートの活用件数 相談対応を事業に活かしていく取組</p> <p>相談件数</p> <p>連携して行った取組</p> <p>啓発の取組実績</p>	<p>【こども家庭支援課】 ① 1,030件(母子Co. 710件 職員 320件) ② 231件(委嘱母子訪問員訪問件数) ③ 検討会1回 検討会メンバー 22人 ④ 子育て応援サポーター育成研修会10人</p> <p>【こども家庭支援課】 905件</p> <p>幼保小実行委員会 2回 16名 幼保小担当者会議 2回 114名(内1回は書面で開催59名) 園長・校長会 1回 59名(書面で開催)</p> <p>【こども家庭支援課】 (啓発事業) ・「ちらし・リーフレット配布関係機関団体向け(8団体)、講演会受講者向け 計769人、 ・広報よこはま 泉区版5月号</p>	<p>【こども家庭支援課】 (2月末現在) ① 933件(母子Co. 315件 職員 618件) ② 354件(委嘱母子訪問員訪問件数) ③ 検討会2回 検討会メンバー 18人 講演会1回 28人</p> <p>【こども家庭支援課】 871件(2月末現在)</p> <p>【こども家庭支援課】 1回</p> <p>【こども家庭支援課】 (啓発事業) ・地区民生委員児童委員協議会での啓発:12地区 189人 ・町内会自治会 ちらし班回覧:58,745部 ・区内各地区行事での啓発:5回 366人 ・関係機関での啓発:3回 175人 ・多言語ちらしの作成</p> <p>【啓発事業】 ・区民まつり:11月3日参加者300人 ・チャリティーコンサート:11月23日参加者542人 ・庁内各課説明:11月1日～13日参加者363人 《関係機関説明》 8団体:200人 保育園長会、幼稚園教諭学習会、小学校長会、中学校長会、児童支援専任・生徒指導支援専任会、泉区民生委員児童委員協議会、主任児童委員連絡会、飯田地区民生委員児童委員協議会</p>	<p>【こども家庭支援課】 ①1,063件(母子Co. 394件 職員 669件) ②607件(委嘱母子訪問員423件 職員184件) ③H31年度計画</p> <p>【こども家庭支援課】 (幼・保・小教育交流事業) 園長校長会・実践交流会(2月)</p> <p>【啓発事業】 ・区民まつり:11月3日参加者300人 ・チャリティーコンサート:11月23日参加者542人 ・庁内各課説明:11月1日～13日参加者363人 《関係機関説明》 8団体:200人 保育園長会、幼稚園教諭学習会、小学校長会、中学校長会、児童支援専任・生徒指導支援専任会、泉区民生委員児童委員協議会、主任児童委員連絡会、飯田地区民生委員児童委員協議会</p>	<p>区こども家庭支援課</p> <p>区こども家庭支援課</p> <p>区こども家庭支援課</p> <p>区こども家庭支援課</p>	<p>早期養育支援事業</p> <p>保育・教育コンシェルジュ</p> <p>まちの学校連携推進事業 放課後児童育成事業 保育施設等との協働による子育て支援推進事業 幼・保・小教育交流事業</p> <p>児童虐待防止啓発地域連携事業</p>	<p>母子訪問時に養育チェックシートを用いて聞き取りを行い、母親のきめ細かな心理状態の把握を行い、支援につなげます。</p> <p>保護者のニーズと必要な保育・教育サービスを適切に結びつけるためのきめ細やかな相談、情報提供等を、保育・教育コンシェルジュが行います。</p> <p>泉区内の放課後キッズクラブ、はまっ子ふれあいスクール・放課後児童クラブの運営を支援し、児童の安全で健やかな放課後の居場所を提供します。 ※その他、保育園・小学校の情報交換などを適宜支援</p> <p>地域と連携した児童虐待防止に関する広報・啓発事業を実施します。</p>	<p>【こども家庭支援課】 母子訪問時の養育チェックシートの活用により、育児不安を抱える母親を早期に把握し、必要に応じて保健師による訪問・連絡等の継続支援につなげます。また、母子包括支援センター機能として、母子保健コーディネーターによるポピュレーションアプローチと母子保健事業と養育支援の連携による切れ目のない支援に取り組みます。 地域の子育て支援向上事業として、地域住民参加型の検討会、傾聴ボランティアの育成と活動支援と検証、地域の子育て支援の風土づくりの啓発や取組の周知、研修会を開催します。</p> <p>【こども家庭支援課】 保育・教育コンシェルジュによる、保護者のニーズと必要な保育・教育サービスを適切に結びつけるため、区役所の窓口だけでなく、子育て支援者の育児相談会場での出張相談や赤ちゃん教室の場を活用し案内等を行います。</p> <p>【こども家庭支援課】 幼稚園・保育園・小学校の交流事業である園長・校長会、実践交流会の開催を支援するとともに、必要に応じて個別の情報共有・連携の取組の支援を行います。</p> <p>【こども家庭支援課】 地域での関係者の会議での出張講座、各地域の親子向け行事等で児童虐待予防に関する啓発を行います。また、泉区広報紙で広く、虐待予防についての周知を行います。 地域の子育てサロンや地域子育て支援拠点等と連携し保健師や心理士による「ポジティブ子育て」の啓発を行います。</p>	<p>・母子訪問員が共通のチェックシートを活用することで、母親の育児不安を早期に把握し、必要に応じて地区担当保健師の継続支援に繋がっています。 また、母子包括支援センターの機能を活かし、コーディネーターと助産師、保健師が一体的に支援しています。 ・住民参加型検討会の意見を踏まえ、子育て世代を見守り、支えることができる子育て応援サポーターを育成し、10人が子育てサロン等で活動しています。令和3年度も検討会を開催し、地域の子育て支援の風土づくりやサポーターの活動を広く啓発できるよう検討を進めます。</p> <p>保育・教育コンシェルジュが出張相談を行うことで、小さなおしんこを抱える保護者が区役所まで足を運ばなくても、保育園、幼稚園の相談ができる環境を作りしました。また、コロナ禍で来庁を控える保護者に対し、電話での相談も積極的にを行い、保護者のニーズに合わせた相談環境を整えることができました。</p> <p>今年度の幼保小教育交流事業は、コロナ禍のため園児と小学生の直接の交流は避けて地域ごとに方法を工夫して行った。 実践報告会は緊急事態宣言下であったので、中止とし各ブロックでの取り組みを文書で配布し共有を図った。</p> <p>令和2年度は、コロナ禍であり各地域の親子向け事業やイベントでの啓発は未実施ですが、広報区版5月号で「体罰によらない子育て」を掲載し、虐待予防の重要性を啓発しました。また、民生委員・児童委員や学校を対象に子どもの見守りや虐待予防について啓発しました。令和3年度は児童虐待予防月間に合わせ、広報区版で広く区民に向け啓発します。また、「叱らない子育て」をテーマにWebでの啓発も行います。</p>

の推 柱進	項重 目点	名取 組	行動計画	振返りの視点	実施回数・参加者数等 R2年度末現在	実施回数・参加者数等 R元年度末現在	(参考) 実施回数・参加者数等 H30年度末現在	実施主体	事業名・取組名	事業概要	令和2年度 実施計画	令和2年度 取組結果
1	2	3	高齢者や要介護者が在宅で継続的な医療・介護を受けることができる仕組みづくりを進めます。	在宅医療連携の取組	【高齢者支援担当】 ・他職種連携会議 2回(書面) ・事例検討会 1回 ・人材育成研修 1回 ・市民向け講演会 1回 ・市民向け講演会 中止	【高齢者支援担当】 ・多職種連携会議 1回 ・事例検討会 2回 ・人材育成研修 1回 ・市民向け講演会 1回	【高齢者支援担当】 ・多職種連携会議 2回 ・事例検討会 3回 ・人材育成研修 1回 ・市民向け講演会 1回	区高齢・障害支援課	在宅医療連携推進事業	区医師会と連携して、医療機関と介護サービス提供機関相互の連携の強化を進めます。	【高齢者支援担当】 ・多職種連携会議 2回 ・事例検討会 3回 ・人材育成研修 1回 ・市民向け講演会 1回	【高齢者支援担当】 ・コロナのため計画を縮小せざるを得ない状況ではありましたが、在宅医療相談室と協働し、多職種との情報交換や学習会を実施しました。特にCOVID19に関する情報収集や情報発信に努め、オンラインや書面等の工夫を行いました。 在宅医療相談室とケアマネフォンテが協力し、介護関係者向けの医療に関する学習の機会が増えています。
			地域に暮らす高齢者等が孤立せず、必要な支援を受けられるよう、見守り事業や相談等を行います。	見守り事業の実施者数 見守りからつながりができた取組	【運営企画係】 6,268人(対象者数) ・既存把握対象者 5,578人 ・区・包括・民生把握数457人 ・相談支援、見守り活動につながった数72人	【運営企画係】 6,051人(対象者数) ・既存把握対象者 5,114人 ・区・包括・民生把握数724人 ・相談支援、見守り活動につながった数56人	【運営企画係】 6,026人(対象者数) ◇区・包括・民生把握数4,634人(77%) ◇区・包括・民生未把握数728人 ◇相談支援、見守り活動につながった数170人	区福祉保健課	ひとり暮らし高齢者「地域で見守り」推進事業	地域に暮らす高齢者等が孤立せず、必要な支援を受けられるよう、見守り事業や相談等を民生委員、包括支援センターと連携して行います。	【運営企画係】 引き続き見守り事業を、区、包括、民生委員と協働して実施するが、75歳以上の複数居住世帯への拡充については、更に事務の軽減に努め、民生委員や包括の負担を極力抑えるよう慎重に検討を進めます。	・対象者は、6,268人と前年とほぼ同じ人数だったが、将来、75歳以上の複数居住世帯拡充に備え、事務の改善を行い、民生委員の事務負担軽減に努めました。 ・訪問対象数は690人。うち、区・包括で状況を把握している328人、民生委員が把握している129人を除く233人を実際に訪問対象とした。 ・訪問した結果、218人の方に会うことができ、72人の方を関係機関に繋ぎ支援することができた。
			認知症などの高齢者を介護する人が孤立しないよう、介護者の集い等を行います。	集いの実施内容	(岡津) 介護者のつどい4回実施、延べ34名 (下和泉) 富士見が丘地区社協共催介護者のつどい 実施なし 認知症カフェほかほかサロン7回 延べ116名 (上飯田) 介護者の集い7回/36名 (新橋) 介護者のつどい10回 2名参加 書いてみよう講座 参加者延28名 (いずみ中央) 介護者のつどい年5回実施 2人参加	(新橋)介護者のつどい7回 延23名(いずみ野) 「介護者のつどい」・年5回(奇数月第4木曜)開催。参加者21名 いずみ野単独で開催。キャラバンメイトにボランティアを依頼。グループホームや特別養護老人ホームの職員、入所者家族等ミニ講座の講師に招き実施しました。 (いずみ中央)年6回実施 7人参加 (下和泉)富士見が丘地区社協共催介護者のつどい(8月15名 11月18名) (上飯田) ・介護者のつどい「しゃべりんぼ」5回開催 33人 (踊場)介護者懇談会:年10回開催 46名	(いずみ中央)年6回実施 のべ19人参加 (いずみ野)6回開催 延べ15名 (下和泉)8月 28名 11月 17名/ほかほかサロン 12回開催 361名参加 (上飯田)6回 34名 (新橋)介護者のつどい 10回32人 (踊場)介護者懇談会 12回開催	地域ケアプラザ	介護者のつどいの開催	高齢者を介護する人の情報交換・交流の機会を図ります。	(新橋)介護者のつどい 10回 (いずみ野)「介護者のつどい」を隔月(年6回)開催。キャラバンメイトや地域の福祉事業者等の協力を得ながら介護者等がリラックスして相談、情報交換ができる場を作ります。11月に認知症介護相談を行います。 (いずみ中央)2ヶ月に1回介護者のつどいを開催予定。参加者同士の情報交換だけでなく、各回毎にテーマを決め情報提供を行います。 (下和泉)富士見が丘地区社協共催介護者のつどいを年2回実施します。また、認知症カフェほかほかサロンで介護者に有用な情報提供をします。 (上飯田) コロナ禍で密を避けるため人数を半数にするなど工夫実施に至りましたが参加者同士は少人数の方が話しやすい方もいて会話がはずみ小さな輪ができました。 ミニコーナーはリラックスできるものを毎回一つ入れると参加者の声が増えました。繰り返すことで認知症の学びが少しずつ積極的になってきている。 (新橋) 個別相談会は毎月予約があり、後見申立てや遺言作成へ至ったケースもあつた。かいてみよう講座は二回連続講座を計画し、エンディングノートと個別相談会をリンクさせる目的で行った。 (岡津) 介護者のつどいを奇数月で年6回開催。初年度の為、まずは顔なじみの関係づくりをしていきます。	(岡津) 介護者の居場所づくりとして9月より奇数月の第3日に介護者のつどいを開催。4回実施し延べ34名の参加。 (下和泉) ・富士見が丘地区社協共催介護者のつどい。新型コロナウイルス流行のため実施できませんでした。 ・認知症カフェほかほかサロン。毎月(9月～3月、月1回)活働事業所や地域の方を講師に迎え、認知症に関連したテーマでミニ講座を開催。好評でした。 【上飯田】 コロナ禍で密を避けるため人数を半数にするなど工夫実施に至りましたが参加者同士は少人数の方が話しやすい方もいて会話がはずみ小さな輪ができました。 ミニコーナーはリラックスできるものを毎回一つ入れると参加者の声が増えました。繰り返すことで認知症の学びが少しずつ積極的になってきている。 (新橋) 個別相談会は毎月予約があり、後見申立てや遺言作成へ至ったケースもあつた。かいてみよう講座は二回連続講座を計画し、エンディングノートと個別相談会をリンクさせる目的で行った。 (いずみ中央) 緊急事態宣言中のため4月は中止し、年5回の実施となりました。コロナ禍のため予約制となりましたが、積極的に参加される方は少数でした。
			経済困窮等、生活していくことが困難になっている人に、継続的な生活の安定・自立を目指した支援を行います。	自立支援に向けた取組	【生活支援課】 ・新規相談者数(実数) 793人 ・申込者数(実数) 386名 (R3.2.28現在)	【生活支援課】 ・新規相談者数(実数) 426人 ・申込者数(実数) 105名 (R2.2.28現在)	・新規相談者数(実数) 215人 ・申込者数(実数) 63名 (H31.2. 28現在)	区生活支援課	生活困窮者自立支援制度の実施	生活に困窮した人に対し、就職や家計支出の改善などを通じて、継続的な生活の安定・自立を目指します。	【生活支援課】 ① 年度替わりに合わせて、関係各課での事業説明・PRと協力依頼を行います。 ② 制度周知先、連携先の新規開拓を行います。 ③ 広報よこはま泉区版に困窮関係記事を掲載した月と連動し、泉区Twitterでの周知を行いました。 ④ 泉区版Twitterでの周知活動を行い、相談者の掘り起こしを図ります。 ⑤ ひきこもりの支援の強化のため、地域や庁内外の関係機関との連携を深めます。 ⑥ 地域保健福祉計画と困窮制度の連動について福祉保健課と協議を進めます。	①センター各課や税務課、広報相談係などに事業説明、協力依頼を行いました。 ②各地区の子育てネットワーク、見守りサロンなどに赴いて制度説明を行い、連携の協力を行いました。 ③広報よこはま泉区版に困窮関係記事を掲載した月と連動し、泉区Twitterでの周知を行いました。 ④上飯田地域ケアプラザ、上飯田地区LSAと連携し、個別ケースの対応協議や情報共有を行いました。 ⑤若者サポートステーションやユースプラザと連携したり、庁内関係各課と打ち合わせを行い連携強化を図りました。 ⑥上飯田地区、いちょう団地区チーム会議に参加し、地域の会議において困窮制度のPRを行ったり、第4次泉区地域福祉計画において関係課と連携しコラムを掲載しました。
			経済困窮等に関する制度について関係機関との共有→生活困窮等世帯に対する支援の取組	経済困窮等に関する制度について関係機関との共有→生活困窮等世帯に対する支援の取組	【区社協】 ・区役所などの関係機関と連携しながら、相談支援を行った。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け特例貸付の申請が多く、食料支援も件数も前年度に比べ大幅に増加した。 ●貸付決定件数 ・教育支援資金…26件 ・特別貸付…1,328件 ・生活福祉資金…5件 ●食糧支援…137件	【区社協】 ・区役所と連携のもと、寄贈食糧を活用した支援を積極的に行い、前年度に比べ件数が大きく増加しました。 ●貸付決定件数 ・教育支援資金…19件 ・生活福祉資金…9件 ●食糧支援…42件	【区社協】 ・今年度は、記録的な猛暑となり、経済的にエアコンの購入ができない方への相談支援や購入費用の貸付を多く行いました。その他、食糧支援や生活費の貸付等、多岐にわたる相談支援を行いました。 ●貸付決定件数 ・教育支援資金…27件 ・生活福祉資金…13件 ●食糧支援…19件	区社協	生活困窮者自立支援制度の実施 →生活困窮等世帯への関係機関と連携した支援の実施	相談者の状況に応じて、関係機関との連携を図った支援を目指します。	【区社協】 ・公的制度と生活福祉資金貸付など、資金的な援助と企業等の地域貢献活動としての食糧支援をコーディネートします。	【区社協】 ・貸付業務を通じて、関係機関と連携しながら相談者の相談支援を行いました。また、区内企業や市民の方からいただいた食料寄付を、相談者や区内子ども食堂などに配布しました。

の推 柱進	項重 目点	名取 組	行動計画	振返りの視点	実施回数・参加者数等 R2年度末現在	実施回数・参加者数等 R元年度末現在	(参考) 実施回数・参加者数等 H30年度末現在	実施主体	事業名・取組名	事業概要	令和2年度 実施計画	令和2年度 取組結果
1	2	3										
健 や か に 過 し せ る ま ち	安 心 し て 暮 ら し 続 け ら れ る 環 境 を つ く る	住 み 慣 れ た 地 域 で 安 心 し て 暮 ら せ る た め の 仕 組 み づ く り	認知症高齢者や障害者等の財産を守る権利擁護や成年後見等の理解を進め、制度の活用を推進します。	講座・講演会の開催 権利擁護事業の啓発への取組	・成年後見サポートネット開催 全体会1回 分科会1回 ・エンディングノート普及啓発のためのウェットティッシュ6,000個作成 ・泉区版エンディングノート「私の人生計画帳」増刷(同津) ・遺言・相続セミナー9月開催20名参加 ・エンディングノート活用講座10月開催16名参加 ・消費者被害防止講座10月開催5名参加 ・分かりやすい相続について1月開催7名参加(下和泉) ・老いの不安解消講座2020全3回:延べ58名(上飯田) 「相続・遺言・成年後見制度」1回22名 エンディングノート講座2回14名 エンディングノートの書き方講座2回10名(新橋) 成年後見制度個別相談会10回 23名参加(いずみ中央) コロナ禍のため講座としては開催せず。 広報紙にて新型コロナウイルス給付金詐欺について予防啓発実施。	【高齢者支援担当】 ・成年後見サポートネット開催 全体会3回、分科会1回 ・エンディングノート講座開催1回 ・泉区版エンディングノート「わたしの人生計画帳」の改訂。  (新橋) ・成年後見制度個別相談会10回 ・講座「遺言書を書いてみよう」27名 ・講座「民事信託とはなんだろう」15名 ・講座「私の人生計画帳」30名(いずみ野) ・相続・遺言、成年後見制度、生前整理、エンディング講座合計5回 142名 ・医療に関する自己決定支援講座1回20名 ・消費被害防止啓発講座を出張出前講座で1回 5名 ・区と共催のエンディングノート講座1回約80名(いずみ中央) 成年後見制度と民事信託～財産管理の今を知る～講座 20人 施設見学会 14名(下和泉) 「老いの不安解消講座」3回 延べ参加人数116名 「消費者被害防止ミニ講座」8回 延べ参加人数178名(上飯田) ・相続・遺言、成年後見制度1回 20名 ・エンディングノートの活用講座 サロンなどで4回 32名 ・エンディングノートの書き方講座 2回36名 ・消費者被害防止2回 29名	・成年後見サポートネット 全体会・年3回、分科会・年1回 ・エンディングノートの講座実施、1回 ・泉区版エンディングノート「わたしの人生計画帳」の微修正を行いました。平成31年度はページ数増の改訂を行う予定。  (いずみ中央) 踊場地域包括と共催で立場地区センターで相続と遺言講座を開催し、43名の参加。初の試みとして地域の会館(泉中央公園集会場)を利用して成年後見制度に関する講座を実施し16名の参加。区域では、区内包括支援センターと区共催で講座を区役所にて実施しました。  (いずみ野) 「相続・遺言(個別相談会あり)」2回60人 「成年後見制度」1回 35人 「エンディングノート活用講座(3回連続講座)」1回 71人 「消費者被害防止」2回 26人(下和泉) 老いの不安解消講座6回 延べ参加人数123名(上飯田) 区と共催 1回 約60人 自主事業 3回 61人 サロン 2回 23人(新橋) エンディングノート書き方講座(3回連続講座 78名。いずみ野ケアプラザにて共同開催 介護者のつどい 計10回 32名参加(踊場) 「相続・遺言とエンディングノートの活用」の講座を開催	区高齢・障害支援課 地域ケアプラザ	権利擁護講演会の開催	成年後見制度の理解を進め、制度の活用を推進するため、区域、包括エリアでの講演会・出前講座等を行います。	【高齢者支援担当】 ・成年後見サポートネットの全体会3回、分科会1回 開催予定。 ・エンディングノートの講座を1回開催予定。  (新橋)成年後見制度個別相談会 10回(いずみ野) ・成年後見制度、相続・遺言、エンディングノート等の講座を開催予定。 ・法律の専門家の相談会を開催予定。 ・消費被害防止啓発講座をシニアクラブ等で開催予定 ・区と共催のエンディングノート普及啓発講座を開催予定。 (いずみ中央) 成年後見制度とエンディングノート活用講座・相続遺言講座を開催予定。 施設見学会開催予定。消費者被害防止のため、高齢者サロン等にて注意喚起を行う予定。 (上飯田) ・地域住民に向けての講座、講演会の開催、成年後見制度の理解をしやすい事例を挙げたりし高齢者などが分かりやすい情報提供を行っていく	【高齢者支援担当】 コロナ禍のため、令和2年度に企画していた成年後見サポートネットは本来4回開催予定だったところを1回のみの開催に変わり、エンディングノート普及啓発のため企画した映画上映会などが犠牲になりました。その代わり、今まで後計していなかった新たな取り組みとして、ウェットティッシュを作成し、それを区域の方に広お配りすることで、エンディングノートを知らなくても役に立つことが出来ました。区民の皆様からは講座や講演会を望む声も広く聞かれていたので、それらも踏まえたうえで、次年度以降の取り組みを検討していきます。 (いずみ野) ・相続・遺言講座を7月に開催、16名参加。 ・ACP、エンディングノート普及啓発講座を3月に開催。 2月開催予定だったが、コロナのため3月に延期。 講座の後、講師の行政書士に相談ができる分科会・法律相談会を開催、1組相談を実施した。 ・消費被害防止啓発講座は、消費生活推進員と共催で、いずみ野地域ケアプラザで3月開催。防犯演劇と泉警察署の講話の2部制で開催した。シニアクラブ等では、地域の集会所がコロナで利用不可のため、行えなかった。 ・区と共催のエンディングノート普及啓発講座は中止、その代わりに普及啓発グッズ(ウェットティッシュ)を作成し、講座等で配布した。 (同津) 各テーマの講座を開催し、情報提供を行った。 遺言・相続セミナー9月開催20名参加 エンディングノート活用講座10月開催16名参加 消費者被害防止講座10月開催5名参加 分かりやすい相続について1月開催7名参加(下和泉) 老いの不安解消講座2020(エンディングノート講座)：高齢者が健康で元氣な体を保ちながら人生100年時代を前向きに生きるために、介護予防と権利擁護の視点から3つのテーマを設定し、各専門家の講話を聞き講座を開催しました。各テーマでは泉区版エンディングノートの内容とリンクしており講座を通して実際にエンディングノートを記入してもらえよう工夫しました。 【上飯田】 民生委員・OMIに成年後見制度の講座を実施。事例を挙げ、後見人をつけることでの支障について理解を促すことができました。 エンディングノートの必要性を説明。記入しておくことで安心した老後をサポートなどで伝え、地域の普及啓発に努めました。 消費者被害防止の講座は計画していたが「緊急事態宣言」で集会所利用ができなくなり中止となりました。次年度の持ち越しになったものもあるので新たにまかせます。 (いずみ中央) 感染予防の観点から、人が集まる講座は実施しませんでした。消費者被害防止のため、新型コロナウイルス給付金詐欺についての広報紙を作成し、民生委員の方にもご協力いただき地域の方へ注意喚起を行いました。
				新規相談件数 利用件数	【区社協】 ・新規相談件数:54件 ・利用件数:47件	【区社協】 ・新規相談件数:71件 ・利用件数:47件	【区社協】 ・新規相談件数:49件 ・利用件数:46件	区社協	権利擁護事業(あんしんセンター)の推進	日常的な金銭管理等が困難な高齢者や障害者に対して、金銭管理や福祉サービス利用を支援します。	【区社協】 地域ケアプラザ、区役所、基幹相談センター等関係機関や地域の見守り活動等との連携により、サービスが必要な人への早期対応を進めます。 また、認知症の進行等契約の継続が困難になった利用者について、成年後見制度への移行を積極的に進めます。	【区社協】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、新規相談者の対応が遅りましたが、契約継続困難なあんしんセンター利用者の成年後見利用について、区へつなぐことができました。
				講座参加人数	【区社協】 ・新任ケアマネジャー研修:10名 ・認知症カフェほかほかサロン:10名	【区社協】 ・新任ケアマネジャー研修:23名	・上飯田地区見守り会議:40名参加 ・和泉中央民見協:26名 ・新任ケアマネジャー研修:26名 ・踊場地域ケア会議:8名 ・台谷サロン:20名	区社協	成年後見制度の周知	認知症高齢者や障害者等の財産を守る成年後見制度の理解を進め、制度の活用を推進します。	【区社協】 ・「よこはま成年後見推進センター」や「区協議会」と連携し、成年後見制度の理解と活用を促進します。	【区社協】 対応状況一覧表の導入で、各機関の状況が見える化したことで、あんしんセンター利用者の成年後見制度への移行がスムーズに行えました。
				市民後見人育成の取組	【区社協】 ・成年後見サポートネット:1回 ・市民後見サポートネット:1回	【区社協】 ・成年後見サポートネット全体会:年3回 ・成年後見サポートネット分科会:年1回	【区社協】 ・成年後見サポートネット全体会:年3回 ・成年後見サポートネット分科会:年1回	区社協	市民後見人の支援	市民後見人に関する啓発や、市民後見人になった人への研修や支援を行います。	【区社協】 地域福祉推進の一翼として、市民後見人バンク登録者の活動を支援します。 また、地域ケアプラザや地域の活動等インフォーマルサービスを活用して行います。	【区社協】 新たに専門職員が設けられ、専門職との密な課題共有・相談ができるようになり、市民後見人へのサポートを分科会に絞ることで、より市民後見人の希望に沿った内容の研修を行うことができました。
			障害者・高齢者への虐待の早期発見・対応ができるよう区民への啓発を進めるとともに、発見時やその後の適切な対応ができるよう、関係機関と綿密に連携します。	連絡会議からの取組事例	・高齢者虐待防止連絡会 1回 ・民生委員向け高齢者虐待に関する基礎研修 1回 ・包括・区職員向け虐待対応力向上研修(コロナにより中止)	【高齢者支援担当】 ・高齢者虐待防止連絡会 1回 ・区・包括向け高齢者虐待対応研修 1回	【高齢者支援担当】 ・高齢者虐待防止連絡会 1回 ・区・包括向け高齢者虐待対応研修 1回 ・ケアマネ向け高齢者虐待対応研修 1回	区高齢・障害支援課	高齢者虐待防止事業	高齢者虐待を防止するための区民や関係機関への啓発や、関係機関との連携を目的とした会議を行います。	【高齢者支援担当】 ・年1回関係機関連絡会を開催。 ・民生委員向け高齢者虐待に関する基礎研修を1回開催予定。 ・包括・区職員向け虐待対応力向上研修を1回開催予定。 ・市民向け虐待防止普及啓発のためのリーフレットの配布を行うことにより、市民からの虐待相談が及びやすい環境の醸成を行った。	

の推 柱進	項重 目点	名取 組	行動計画	振返りの視点	実施回数・参加者数等 R2年度末現在	実施回数・参加者数等 R1年度末現在	(参考) 実施回数・参加者数等 H30年度末現在	実施主体	事業名・取組名	事業概要	令和2年度 実施計画	令和2年度 取組結果	
人 と 人 、 活 動 と 活 動 の つ な が り が あ る ま ち	地 域 の 中 で よ り 多 く の 人 と の 交 流 を 進 め る	1  様 々 な 人 と の 交 流 の 推 進	「参加者が一緒に楽しむ」ことを目的に、障害児・者と中学生・高校生、青少年指導員、民生委員・児童委員等との交流を進めるため、「ふれあい“ザ”いずみ軽スポーツ大会」の開催を支援します。	参加者数 大会からの交流の取組	【区社協】 新型コロナウイルス感染の影響により、軽スポーツ大会が中止。	【区社協】 約1,300名	約1,267人	区高齢・障害支援課 区社協	ふれあい“ザ”いずみ軽スポーツ大会開催支援	軽スポーツを通じて障害児・者の社会参加や中高生との交流を実行委員会形式で行ないます。	【区社協】 ・大会当日は、2020年東京オリンピック、パラリンピックに関連した啓発ブースを設置します。 【障害者支援担当】 「参加者が一緒に楽しむ」ことを目的に、障害児・者と中学生・高校生、青少年指導員、民生委員・児童委員等との交流を進めるため、「ふれあい“ザ”いずみ軽スポーツ大会」の開催を支援します。	【区社協】 軽スポーツ大会は中止となりました。代替の取組として、「泉ふれあいサークル」を開催しました。障害福祉事業所の自主製品のPRなどをきっかけに障がい理解啓発を進めました。	
			小・中・高校生や保護者に対し、乳幼児や高齢者、障害者についての学習・体験をしてみよう機会を提供し、理解を進めるための機会を企画・実施します。	参加者数 地域での福祉教育を通じた取組	【区社協】 ・実施日数 6回 ・参加者数 延べ562名 ・機材貸出 84件	【区社協】 約1,300名	【区社協】 ・実施回数 9団体 ・参加者数 延べ1722名 ・機材貸出 3団体	【区社協】 地域の方々や障がいのある方による学校への福祉教育、啓発事業の実施	区社協	地域の方々や障がいのある方による学校への福祉教育、啓発事業の実施	地域の方々による福祉教育サポーターや、障害当事者や親などと協力して、各学校での福祉教育を更に充実させるとともに、地域住民や企業など対象を幅広く捉えた福祉教育の実践をはかります。	【区社協】 ・各学校において、当事者を講師にした障害者理解や認知症理解等の福祉教育(啓発)を進めます。 ・児童支援専任教諭・生徒指導専任教諭協議会や学校長会での情報共有や連携を深めます。 ・学校等での福祉教育研修・講座の支援ボランティアである「福祉教育サポーター」の養成により、活動を広めます。	【区社協】 ・各学校での福祉理解の促進のため、障がい理解等の講座を実施しました。コロナ禍において、講師の団体活動が制限されていましたが、オンラインを活用して学生の手話体験を行いました。 ・児童支援専任教諭・生徒指導専任教諭協議会や学校長会にて、福祉教育の理解を深めるため、情報提供を行いました。 ・福祉教育サポーターの拡充のため、ボランティアセンターとも協働し、新規ボランティアセンター登録者への声掛けを実施しました。
			施設などでの誰もが参加できるお祭りのような場で、活動グループを知ってもらうための機会を設け、活動グループと地域住民の交流を進めます。	受入れ施設数 交流や理解を深める取組	【区社協】 ・協力施設等 12施設	【区社協】 ・協力施設等 19施設	【区社協】 ・協力施設等 16施設	区社協	サマースクール事業	サマースクール事業	小中学生が夏休みに区内の保育園や高齢者・障害児者施設でボランティア体験を行い、交流や理解を深めます。	【区社協】 ・小中学生対象「サマースクール2020」(福祉体験学習)の実施	【区社協】 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、時期を変更して「いずみウィークエンドスクール2020」にて実施しました。感染症の影響により、対面でも実施が難しいプログラムもありましたが、書面での開催に変更するなど、コロナ禍においても学びが途切れないよう工夫しながら行いました。
			イベントを通じた交流の取組	(新橋) 会場利用団体交流会 1回・30人 団体大掃除 1回・29人 ありがとうまつり1回・約700人 (いずみ野) いずみ野わくわく祭り(8/31) 横浜市・相鉄が主催する「いずみ野マルシェ+ (プラス)」と同時開催しました。 多くの方が来所され、ケアプラザ内および、野外ステージなどで貸室団体6団体が活動されました。(参加人数300名程度) 健康フェスティバル 近隣の特別養護老人ホーム白寿荘との共催ですべての世代の方に健康について考えてもらうきっかけづくりとして開催しました。延べ487人が来所されました。 いずみ野節分祭り 横浜市・相鉄が主催する「いずみ野節分祭り」に共催として参加し、親子で参加できるスタンブラーや和泉北部保健活動推進員と協力し健康測定ブースなど会場の提供を行い地域住民との交流の場を設けました。(場所の提供のみ) (いずみ中央) ・そよ風フェスタ1回 約1,000人弱 ・貸室団体交流会1回 28人 ・ボランティア感謝と交流の集い1回35人 (下和泉) 利用者懇談会 (7月64名・12月75名) スプリングフェスティバル 中止 (上飯田) ふれあい連絡会16団体32名 ・焼き芋チャリティー149名 ・貸室団体交流会16団体44名 (新橋) 利用団体発表会2回 80人 20周年イベント1回 300人 おどりばねこまつり中止		(いずみ中央) ・そよ風フェスタ1回 約1,000人弱 ・貸室団体交流会1回 28人 ・ボランティア感謝と交流の集い1回35人 (下和泉) 利用者懇談会 2回・計 120名 スプリングフェスティバル 延べ4552人 (上飯田) ふれあい連絡会 17団体34名 焼き芋チャリティー 95名 年末貸室団体交流会 31名 (新橋) 会場利用団体交流会 1回・25人 団体大掃除 1回・56人 ありがとうまつり1回・約700人 (いずみ野) 利用団体発表会3回 143人 (いずみ野) ①9月1日「いずみ野わくわく祭り」実施 参加者:190人 貸室登録団体6団体活動 同日開催「いずみ野マルシェ+」へのケアプラザからの働きかけによる、参加団体 泉区ヘルスメイト・和泉中央・和泉北部子育て支援ネットワーク(2団体) ②2月3日「相鉄いずみ野沿線環境未来都市節分際」ステージ発表1団体およびケアプラザ内、貸室利用団体1団体活動。		地域ケアプラザ	活動団体発表会の開催 ケアプラザまつりの開催	各地域ケアプラザ主催のイベントにて、地域活動グループの紹介や交流の機会を図ります。	(新橋) 会場利用団体交流会 年1回 団体大掃除 年1回 ありがとうまつり 年1回 (いずみ野) 貸室団体やボランティアスタッフの活動や発表の場として「いずみ野のわくわくまつり」を開催します。(8月) いずみ野駅周辺の公共機関のつながりづくりやケアプラザの貸室団体、ボランティアの活動を兼ねて「スタンブラー」を開催します。(10月) 健康づくりをテーマに、保健活動推進委員会の協力や特別養護老人ホーム白寿荘と共催で「健康フェスティバル」を開催します。(11月) (いずみ中央)そよ風フェスタ(ケアプラザのお祭り)、貸室団体交流会、ボランティア感謝と交流の集い 各1回開催予定 (下和泉) 利用者懇談会 2回実施予定 スプリングフェスティバル 2月実施予定 (上飯田) 上飯田地区でサロンや体操教室、脳トレ教室を開催している担い手同士の交流会で「ふれあい連絡会」を年一回実施予定 地域の障がい者、高齢者、子ども達など多世代で交流をする機会の提供。多世代焼き芋交流会を年一回実施予定。貸室団体交流を目的とした貸室団体交流会を年一回実施予定 (新橋) コロナ禍でケアプラザのまつりや団体大掃除など企画していたが安全面に配慮して実施せず。 利用団体のモチベーションアップ、また地域との交流の場として、第5火曜日には利用団体発表会を引き続き開催予定です。また、2月22日には地域とも連携して「おどりばねこまつり」開催予定です。 (岡津) ケアプラザまつり 年1回 みんなで大掃除会 年1回	(いずみ野) 令和2年度は感染症の影響により、「いずみ野のわくわくまつり」の開催は中止となった。しかし、横浜市と相鉄が連携した「いずみ野のオンラインマルシェ」が9月に開催となり、そこには共催して参加した。貸室団体、秀英高校、いずみ野中学校等々、様々な団体が快復でのステージに協力していた。10月に開催予定だった「スタンブラー」は、単独での開催は見送ったが、11月に包括支援の「ミニ健康フェスタ」に、白寿荘とヤマトと連携し、スタンブラーを実施、100人以上の地域の方の参加があり、イベントとしては次年度につながるものになった。 (岡津) ケアプラザまつりを11月14日に運営町内会と地区社会福祉協議会の協力のもと、開催しました。 地域のサロン、8月19日活動グループの担い手の方々のサロン連絡会を開催しました。 (下和泉) 貸室利用が中止となり、6月の利用者懇談会は中止、12月の懇談会は各団体を3つに別けて少人数でコロナ禍での貸室利用方法を通知しました。また、団体利用者の現状における活動内容塔をヒヤリングしました。 (上飯田) 新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、いずれも実施を見合わせた。 (いずみ中央) 感染症予防の観点から、お祭りや交流会等対面で大勢が集まる事業は実施せず。ロータリーを活用し「クリスマスツリーを飾ろう」等対面せずに地域の方がゆるやかに集える事業を実施。	
		2	サ ポ ー ト が 必 要 な 人 へ の 理 解 の 推 進	子育て世代が不安や悩みを抱えながら子育てをしている実情を理解し、周囲からのサポートを進めるためのきっかけとなるよう講座を開催する等、働きかけを進めます。	区域・ケアプラザエリアの実施回数 ネットワーク連絡会議の取組	【こども家庭支援課】 区域1回 23人 エリア別 54回	【こども家庭支援課】 (2月現在) 区域2回 78人 エリア別 72回	【こども家庭支援課】 区域2回 48人 エリア別65回	区こども家庭支援課	子育てネットワーク支援事業 子育てネットワーク連絡会推進事業	泉区のひとりひとりの子どもの育ちと親を支えていくために必要な子育て課題に対し、関係機関の連携により、課題解決を進めていくことを目的として、地域別5エリア、区域での子育て支援ネットワーク連絡会を開催します。	【こども家庭支援課】 子育て支援連絡会を年2回開催します。区域全体での子育て支援活動、状況について情報共有することやエリア別の活動が発展するよう、エリア別の活動について報告し情報交換をします。 エリア別ネットワーク活動支援として、地域活動者による主体的活動を地域子育て支援拠点、地域ケアプラザと協力して支援します。また、地区社協支援としての区社協とも協力して行います。	(子育て支援連絡会) 子育て支援連絡会を実施し、区からコロナ感染症対策について説明しました。また、支援者間でコロナ禍での活動状況を共有し、感染対策を講じたサロン再開、運営継続ができるよう支援しました。 (エリア別ネットワーク) エリア別ネットワークを区域で実施し、活動情報を共有を行いました。エリア別ネットワークの支援を区社協・子育て支援拠点と連携し、行っています。エリアネットワークが主体的に各地区の子育て支援を連携して行う支援が必要です。
			提供会員数		【3月末】 103人 (※両方会員 34人)	【3月末】 101人 (※両方会員 38人)	30年度 90人 (※両方会員 36人)		区こども家庭支援課	横浜子育てサポートシステム事業	児童を預けたい人(利用会員)と児童を預かる人(提供会員)とが利用できるようコーディネートすることにより、地域ぐるみで子育てを支援していく「有償のボランティア」の仕組みです。	【こども家庭支援課】 広報よこはま区版への掲載をはじめ、地域でのチラシの回覧、小・中学校での配付など、あらゆる機会を通じてPRを行い、提供会員の増員を図りながら、利用会員のニーズに合わせた支援を実施します。	事務局である地域子育て支援拠点と連携し、提供会員の増加を目指した啓発が必要で、令和3年度は、広報区版へPR記事を掲載します。
	講演会の参加者数	障害児・者や家族が感じる、生活上支障があることを知り、周囲ができるサポートを考えるきっかけとなる講座の開催等普及啓発を行います。		【こども家庭支援課】 自立支援協議会 こども部会:1回 重心部会:3回	【こども家庭支援課】 自立支援協議会 こども部会:2回 重心部会:4回	【こども家庭支援課】 セミナー参加者:82人	区こども家庭支援課	発達障害児サポートセミナー	発達障害児や家族が地域で安心して生活できるよう、関係機関、地域住民に対し、普及啓発の講演会を実施します。	【こども家庭支援課】 障害児者や家族・関係者の障害理解の推進や障害児支援機関の連携が図られるよう、自立支援協議会のこども部会、重心部会の活動を支援します。 エリア別子育て支援ネットワーク連絡会や地域福祉保健計画の活動においても、障害理解について啓発の必要性や企画の提案をしていきます。	こども部会は、年2回開催予定が1回開催となりました。「コロナ禍における支援」をテーマに意見交換し、事業所や団体の枠を超え、支援の工夫点や感染対策等を共有することができました。また、重心部会は感染症対策を講じ、年3回実施しました。 エリア別子育て支援ネットワーク連絡会当での啓発は、実施に向け検討が必要です。		

の推 柱進	項重 目点	名取 組	行動計画	振返りの視点	実施回数・参加者数等 R2年度末現在	実施回数・参加者数等 R元年度末現在	(参考) 実施回数・参加者数等 H30年度末現在	実施主体	事業名・取組名	事業概要	令和2年度 実施計画	令和2年度 取組結果	
2	1	2											
人 と 人 、 活 動 と 活 動 の つ な が り が あ る ま ち	地 域 の 中 で よ り 多 く の 人 と の 交 流 を 進 め る	サ ポ ー ト が 必 要 な 人 へ の 理 解 の 推 進	障害児・者や家族が感じる、生活上支障があることを知り、周囲ができるサポートを考えるきっかけとなる講座の開催等普及啓発を行います。	相談件数	【区社協】 ・実相談数 81件	【区社協】 ・実相談数 93件	【区社協】 ・実相談数 105件	区社協	移動情報センター	障がい児・者の移動に関わる窓口として相談を受けコーディネートします。ガイドボランティアの事務取扱団体としてボランティアの確保に努めます。	【区社協】 ・ガイドボランティアが不足しているエリアを重点に養成講座を開催します。 ・地域住民向けの障害理解講座を実施します。 ・ガイドボランティア同士の交流会により活動をフォローアップします。	ガイドボランティアの拡充を目指し、研修会の開催やウェブニュースでの啓発に取組み新たに13名の登録がありました。研修会は、2回連続講座で開催したため、参加者同士の交流も図れました。今後は、ガイドボランティアの育成に向けて取組みを進めます。	
			障害児・者への理解を深めるきっかけづくりの場として、障害児・者団体、障害福祉施設、地域作業所による自主製品販売支援の継続、業務依頼を行います。	講座開催数	【区社協】 ・障がい理解啓発の活動を2件実施。 ・福祉の作品展3日間開催 ・戸塚区にて開催の「障害者週間シンポジウム」にて泉区内の取組が紹介(シンポジウムは中止となり映像収録のみ)	【区社協】 ・福祉の作品展 5日間開催 ・セイフティーネットプロジェクト横浜出前講座3件実施 ・市域の障がい者団体主催「災害シンポジウム」での泉区内地域防災拠点の発表に協力	【区社協】 ・セイフティーネットプロジェクト横浜出前講座5件実施	区社協	障害児・者と交流する事業や、理解を深めサポートを考えるための講座等の実施	福祉の作品展等で障害児・者との交流や、障害に関するボランティア講座の開催を通して理解を深める取組を進めます。	【区社協】 ・区内施設等の利用者やその家族、職員と協力し、セイフティーネットプロジェクト横浜出前講座を実施します。		【区社協】 区内施設の利用者やその家族、職員と協力し、区内の地域防災拠点や民生委員児童委員協議会などに向けて障がい理解啓発の活動を2件実施しました。 ・福祉の作品展3日間開催 ・戸塚区にて開催の「障害者週間シンポジウム」にて泉区内の取組が紹介(シンポジウムは中止となり映像収録のみ) 以上の活動を通して、障がい理解啓発を進めました。
			障害児・者への理解を深めるきっかけづくりの場として、障害児・者団体、障害福祉施設、地域作業所による自主製品販売支援の継続、業務依頼を行います。	出店回数	【障害者支援担当】 (区庁舎での販売) ・販売実績:204回(通年週5日) コロナ状況による休止あり (戸塚駅での泉区産農産物販売支援) ・販売実績:0回(通年週2回(水・金)の予定だったがコロナ状況により休止) ・参加事業所との打ち合わせ1回(8月) (立場駅での自主製品販売支援)	【障害者支援担当】 (区庁舎での販売) ・販売実績:240回(通年週5日) ・区内障害福祉施設マップの作成(2000部)  (戸塚駅での泉区産農産物販売支援) ・販売実績:93回(通年週2回(水・金)) ・参加障害者団体との意見交換会の開催(1回、2月)	【区庁舎での販売】 ・販売実績:244回(通年週5日) ・区内の障害者団体への出店希望の有無についてのアンケートを実施 ・区内障害福祉施設マップの作成(12月、2000部)  【戸塚駅での泉区産農産物販売支援】 ・販売実績:95回(通年週2回(水・金)) ・参加障害者団体との意見交換会の開催(1回、2月) ・事業の運用ルールを文書化(事業の目的、参加条件、障害者団体と区役所の役割分担など)要綱改正	区高齢・障害支援課	自主製品等販売活動支援事業	区庁舎や区内各地イベントで各事業所の自主製品の販売の支援を行います。	【障害者支援担当】 障害児・者への理解を深めるきっかけづくりの場として、障害児・者団体、障害福祉施設、地域作業所による自主製品販売支援の継続、業務依頼を行います。 12月の障害者週間に合わせて福祉の作品展の実施とそれにあわせて、自主製品販売を行います。		【障害者支援担当】 令和3年度からの販売開始に向けて自立協日中活動部会での打ち合わせへの参加や交通局との調整などの支援
障害児・者の余暇支援と、一緒に活動するボランティアの育成を行います。	実施回数、ボランティア参加者数 交流や理解を深める取組	【区社協】 令和2年度は情報交換、共有について未実施。 (上飯田) 障害児余暇支援事業 夏休み親子工作教室 1回/0名 (新橋) 子供向け事業0回 0人 健康歌声サロン3回 51人 ラフターヨガ4回 25人 (いずみ中央) 障害児・者余暇支援事業「飛行船いずみ」対面での実施は1回、6名参加。対面での活動は控え、手紙、電話を介しての活動を中心に行ったためボランティアの募集は行わなかった。	【区社協】 区社協・CP・学校等の関係者で、区域の障がい児余暇の状況や各機関の取組について情報共有 3回 (新橋) 夏休み親子工作教室 1回3名 親子で楽しむ竹細工教室 1回3名 健康歌声サロン 11回33名 ＜いずみ野＞ 社会福祉法人びぐれつとの利用者を対象とした、料理教室「びぐれつと料理教室」を実施しました。(毎月第1水曜日)51名 (いずみ中央) ジュニアフレンドは開催なし。ケアプラザ自主事業の障害児・者余暇支援事業「飛行船いずみ」を年10回実施し、参加してくれるボランティアの方を募集。学生2名の参加あり。 (上飯田) 定期的な情報交換会 障がい児余暇支援事業提案段階 (踊場) ・いずみ寺子屋・おどろば青年隊外出レク 1回 8人(1回は中止) ・20周年イベントでは、地域作業所の出展ブースや障害児・者の団体のボランティアとして、学生や地域の関心のある方たちをボランティアとして受け入れました。	【区社協】 ・夏季ジュニアフレンドのみ開催。 4回・31人参加 (いずみ中央) ジュニアフレンド夏1回28人 (下和泉) 台風のため実施できず。防災訓練を通して地域の方へ理解を深めました。 (上飯田) ジュニアフレンド夏季事業 参加者8名 ボランティア 8名 (新橋) ジュニアフレンド事業 0回・0人 障害者当事者のボランティア育成 (踊場) 夏1回34人 (いずみ野) びぐれつと料理教室(毎月第1水曜)全8回(8月よりスタート)47名	【区社協】 ・夏季ジュニアフレンドのみ開催。 4回・31人参加 (いずみ中央) ジュニアフレンド夏1回28人 (下和泉) 台風のため実施できず。防災訓練を通して地域の方へ理解を深めました。 (上飯田) ジュニアフレンド夏季事業 参加者8名 ボランティア 8名 (新橋) ジュニアフレンド事業 0回・0人 障害者当事者のボランティア育成 (踊場) 夏1回34人 (いずみ野) びぐれつと料理教室(毎月第1水曜)全8回(8月よりスタート)47名	区社協 地域ケアプラザ	ジュニアフレンド事業	障害児の余暇支援事業に、学生を中心としたボランティアが参加し、障害児との交流や理解を深めます。	【区社協】 各地域ケアプラザエリアごとに行われる障がい児の余暇支援事業を支援します。 (新橋) 夏休み親子工作教室 年1回 親子で楽しむ教室 年1回 健康歌声サロン 月1回 (いずみ野) 感染症の影響により令和2年度は、事業が中止となってしまった。次年度に向けて、新型コロナウイルス感染拡大の状況を見ながら、障がい者支援に関しては検討する予定。 【踊場】 障害理解講座を予定していましたが、R3年度開催に延期しました。 (下和泉) 講座開催にはならず、各障害者施設で行っている作業所の物販品を地域の方へ販売できるよう働きかけました。また、施設連絡会での近隣施設各所の広報誌作成等で、障害施設との連携を図りました。 【上飯田】 夏休みの障害児余暇支援事業として親子工作教室を企画しましたが、参加者が集まりませんでした。もっと年齢相談支援センターや区社協と連携、協力して周知していくことが課題だと思っています。 (新橋) コロナ禍で夏休みの子供向け事業を企画していたが安全面に配慮して実施せず。 (いずみ中央) 感染予防の観点から対面での開催は避け、電話や手紙を通して活動を実施。こちらからの手紙を受け、参加者から年賀状が届いたり、また参加者から他の参加者に送って欲しいと手紙が届くこともあった。				

の推 柱 進	項 目 点	名 取 組	行動計画	振り返りの視点	実施回数・参加者数等 R2年度末現在	実施回数・参加者数等 R元年度末現在	(参考) 実施回数・参加者数等 H30年度末現在	実施主体	事業名・取組名	事業概要	令和2年度 実施計画	令和2年度 取組結果							
人 と 人 、 活 動 と 活 動 の つ な が り が あ る ま ち	地 域 の 中 で よ り 多 く の 人 と の 交 流 を 進 め る	2	サ ポ ー ト が 必 要 な 人 へ の 理 解 の 推 進	認知症高齢者を理解し、支える認知症サポーターの養成と活動支援を行います。	認知症サポーター数	【高齢者支援担当】 15,884人(R2.3月末現在) (上飯田) ・認知症サポーター養成講座 3回 147人(2回は小中学校) (下和泉) ・認知症サポーター養成講座 2回 51人 (踊場) ・認知症サポーター養成講座 2回 155人 (いずみ中央) ・認知症サポーター養成講座 1回 235人(中学校) (新橋) 講座の実施無し (いずみ野) ・認知症サポーター養成講座 2回 16人 (岡津) ・認知症サポーター養成講座 2回 51人	【高齢者支援担当】 14,168人(平成31年3月末現在) (新橋) ・認知症キャラバンメイト連絡会3回 (いずみ野) ・ケアプラザ、自治会、横浜銀行、シニア クラブ連会で認知症サポーター養成講 座を実施しました。(5回・96名) ・オレンジリングを持っている人向け にサポーターステップアップ講座を2回連 続講座を実施しました。 (上飯田) ・認知症サポーター養成講座 中学校 109名、小学校 58名 ・エリア内キャラバン・メイト連絡会 1回 (踊場) 認知症サポーター養成講座:1回開催 13 名	【高齢者支援担当】 13,292人(平成30年9月末現在) (いずみ中央) 新たな講座開催として、エリア内の障害 者向け作業所を運営する社会福祉法人 の職員向けにサポーター養成講座を開 催しました。またオレンジリングを持った 方のスキルアップのための講座を初めて 開催。51名の方が参加されました。 (下和泉) 認知症サポーター養成講座6回 延べ参 加人数256名 (上飯田) ・認知症サポーター養成講座開催支援 小・中学校 156名、介護事業所 24名 ・キャラバン・メイト連絡会 1回 (新橋) 認知症サポーター養成講座 計4回158 名 (踊場) 中田地区社協との共催で認知症サポ ーター養成講座を開催。 (いずみ野) ・認知症サポーター養成講座 8回 168 名	区高齢・障害支 援課・ケアプラ ザ	認知症キャラバンメイト支援	認知症キャラバンメイトの活動を支援し、 認知症サポーター養成講座を行います。	【高齢者支援担当】 ・区で研修及び情報交換会を1回開催します。(新メイトを紹介できる秋ごろ実施) ・包括毎の連絡会を継続できるよう支援します。 (新橋)新橋エリア認知症キャラバンメイト連絡会3回 (いずみ野) ・エリアの小学校、中学校での認知症サポーター講座開催に向けてアプローチを検討します。 ・サポーターステップアップ講座を継続して実施します。 (いずみ中央) エリア内の様々な機関に働きかけを継続し、サポーター養成講座・スキルアップ講座の実施。 (上飯田) ・認知症サポーター養成講座の開催支援 ・エリア内キャラバン・メイト連絡会の開催 (踊場) キャラバンメイトは数名いらっしゃいますが、仕事をしている方や高齢化に伴い、実質活動でき るメンバーが少ないのが現状です。できる限り支援していきます。 (岡津) 認知症サポーター養成講座の開催予定。	【高齢者支援担当】 区域での連絡会は1回実施することができた。しかし、エリアでの連絡会は コロナの影響で実施できずでした。 サポーター養成講座については、回数は少ないが感染対策を行い実施す ることができた。 コロナの影響で、キャラバンメイトの活動に制限が出て連携がとづらくな っているため次年度は地域での活動力の底上げが必要です。 (いずみ野) ・エリアの小学校、中学校での認知症サポーター講座開催はコロナ禍の為 に開催出来なかった。コロナ感染拡大の状況を見ながら、次年度は検討し ていく。 ・サポーターステップアップ講座は3月に開催し、延べ12人参加した。 (下和泉) 認知症サポーター養成講座1回開催22名参加 (新橋) ・認知症啓発「認知症を学び理解を深めるための講座」と認知症サポーター の養成を目的とした講座を開催し、認知症の正しい知識の啓発と地域で認 知症のケアやその家族を支えるサポーターの要請につながりました。 (上飯田) 認知症サポーター養成講座の開催支援を行いました。 (岡津) 新橋エリア認知症キャラバンメイト連絡会2回(会議と書面開催)						
						2	1	共通課題の解決に向けた取組の推進	活動のネットワークと連携を強化する	同じ分野で活動している地域の活動グループや関係機関等による連絡会議を開催し、共通する区域の課題を整理しながら、解決方法を検討します。	連絡会から発展した取組	【高齢者支援担当】 認知症支援事業連絡会(1回) 認知症支援事業担当者連絡会(2回) (いずみ野) 地域の訪問介護事業者への虐待防止研 修を開催。参加者:22名 (上飯田) 区の認知症支援事業、虐待防止事業連 絡会へ参加、関係機関と徘徊高齢者の 現状やSOSネットワークについて情報交 換を行った。	【高齢者支援担当】 認知症支援事業連絡会(1回) 認知症支援事業担当者連絡会(2回) (新橋) ・10/17泉区認知症支援事業及び虐待防 止事業連絡会へ参加した。 (いずみ野) 地域の訪問介護事業者への虐待防止研 修を開催。参加者:22名 (上飯田) 区の認知症支援事業、虐待防止事業連 絡会へ参加、関係機関と徘徊高齢者の 現状やSOSネットワークについて情報交 換を行った。	【高齢者支援担当】 認知症支援事業連絡会(1回) 認知症支援事業担当者連絡会(2回) (上飯田)高齢者虐待防止連絡会 1回 (新橋)実施なし (踊場) 認知症高齢者対策連絡会、高齢者虐待 防止連絡会へ参加した。	区高齢・障害支 援課 地域ケアプラザ	認知症高齢者対策・高齢者虐 待防止連絡会の開催	区内の高齢者関係機関と共に、共通課題 の解決方法を検討します。	【高齢者支援担当】 ・年1回の関係機関連絡会を継続します。 ・年2回の事業担当者連絡会を継続します ・SOSネットワーク及びシール事業の周知を行います。 (新橋)各連絡会への参加 (いずみ野) 高齢者虐待防止連絡会や虐待研修に参加するなどし、虐待対応の知識を深め、地域の福祉事 業者等に研修等で伝達し、連携を図れるよう取り組みます。 (上飯田) 高齢者関係機関との連携を図り虐待防止に努められるよう積極的に連絡会などに参加してい きます (踊場) 認知症支援事業及び高齢者虐待防止事業連絡会に出席し、現状の取り組み・状況などの情報 共有に努めます。 (岡津) 地区の認知症サポート連絡会への参加、事務局として支援していきます。	【高齢者支援担当】 関係機関連絡会の開催により、連携しやすい関係性を行った。また虐待 対応に対する共通意識の共有が行えた。 年2回の事業担当者連絡会により、包括と区が課題を共有し、共通認識を 持って認知症事業に取り組めるようになった。 SOSネットワーク及びシール事業の周知を行い、利用者が着実に増え た。 (いずみ野) ・区の高齢者虐待防止連絡会に1回出席した。 ・市の虐待研修に1回参加した。 ・地域の福祉事業者との勉強会は、コロナ禍で福祉事業者において感染予 防対策のための行動制限があり、今年度は開催に至らなかった。 【岡津】 認知症サポート連絡会のメンバーに地域ケア会議に参加してもらい、認知 症について検討しました。 (上飯田) 認知症支援・高齢者虐待防止の連絡会参加で関係機関の情報収集がで きました。
											実務者会議、個別ケース 検討実施回数 連絡会議での取組	【こども家庭支援課】 ①実務者会議 1回(書面開 催) ②個別ケース検討会議71回 ③中田地区エリア別会議26 人	【こども家庭支援課】 (2月現在) 実務者会議 1回 個別ケース検討会議 58回	【こども家庭支援課】 実務者会議2回 参加者:115人 個別ケース検討会議59回	区こども家庭支 援課	要保護児童対策地域協議会	要保護児童等の早期発見や適切な保護・ 支援を図るため、要保護児童対策地域協 議会を開催し、関係者の情報共有、課題 の解決に向けた検討を行います。	【こども家庭支援課】 区域の実務者会議による実務者会議を年1回、地域別の実務者会議を2地区で開催し、関係機 関の円滑な連携のための情報交換や協議を行います。また、要保護児童対策地域協議会構 成機関向けの研修を年1回を行います。 また、個別支援の充実のために、子どもや養育者に直接関わりのある関係者が集まり、支援 方針・役割分担等の検討を行う個別ケース検討会議を必要時に開催します。	・区域の実務者会議は、コロナ禍を受けて書面報告としました。 ・エリア別会議を1地区で行い、講師を招いた事例検討を実施し、地域住民 や学校、保育園等の関係機関の見守りや声掛けが重要であること、各機 関の役割共有しました。 ・専任児童対策地域協議会構成員向けの研修会は、「子ども虐待の理解 と関係機関連携」をテーマとし、関係機関の役割や具体的な対応方法お よび機関連携について深めました。 ・令和2年度は、学校の臨時休業に伴い、要支援児童の見守りが困難な状 況でした。学校をはじめ、関係機関と緊密に連携を図り、個別支援検討会 議を実施しました。
											公民保育園の研修参加者 数	【こども家庭支援課】 研修:7回 168人 交流:7回 16回	【こども家庭支援課】 令和元年度 研修:34回 710人 交流:30回 21回	30年度 研修:31回 673人 交流:37回 22回	区こども家庭支 援課	保育資源ネットワ ーク構築事業	保育資源間での保育・教育の関する実践 研修や公開保育等の実施、情報交換・ノ ウハウの共有化の取組を実施します。	【こども家庭支援課】 各施設が抱える様々な課題についての情報交換を研修会等を通じて行うことにより、課題解決 に向けたノウハウの共有化、施設間交流の実施による保育士同士の交流や連携、遊びの幅の 広がり、保育の質の向上につなげていきます。 年長児にとっては他園の友達と遊ぶ楽しい機会になると同時に、同じ就学先の友達との出会い にもなり、就学への不安の解消、期待にもつなげます。	コロナ禍で開催回数は減少したものの、各種研修会・交流会を実施し、保 育施設等全体のスキルアップを図り、質の高い保育サービスを提供しま した。
連絡会議等での課題解決 の取組	【区社協】 ボランティアネットワーク(登 録81団体) ・運営委員会 8回 ・子育て支援部会、障がい者 支援部会、高齢者支援部会 各1回 ・ボランティア・市民活動分科会(会員登録 47団体)開催せず 専門機関部会(会員登録103個人・団 体)1回 地区社協分科会 6回 地区社協研修会(身近・共生社会を考 える研修会) 2回 【2月現在】 区域2回 78人 エリア別 72回	【区社協】 ボランティアネットワーク(登録88団 体) ・運営委員会10回 ・子育て支援部会、一般部会、障がい者 支援部会、高齢者支援部会 各1回 ・ボランティアフォーラム 中止 ボランティア・市民活動分科会(会員登録 47団体)開催せず 専門機関部会(会員登録103個人・団 体)1回 地区社協分科会 6回 地区社協研修会(身近・共生社会を考 える研修会) 2回 【2月現在】 区域2回 78人 エリア別 72回	【区社協】 (ボランティアネットワーク 登録88団 体) ・運営委員会11回 ・子育て支援部会、一般部会、障がい者 支援部会、高齢者支援部会各1回 ・ボランティアフォーラム1回 (ボランティア・市民活動分科会…48団 体) ・分科会1回 ・専門機関部会 2回(会員登録113個 人・団体) ・地区社協分科会 6回 ・地区社協・身近事業合同研修会 2回	区社協	課題共有やその解決のため、 ボランティア連絡会の有効活 用 →課題共有やその解決のため、 ボランティア団体連絡会や 専門機関部会(法人・施設の連 絡会)等との連携強化	【区社協】 ・区社協会員で構成する各部会・分科会の合同開催により横断的な議論を行います。 ・下記既存ネットワークにより、共通課題の解決に向けた取組を進めます。 ○ボランティアネットワーク会議 ○災害ボランティア連絡会 ○食ササービスタ団体連絡会	(ボランティアネットワーク連絡会) ・コロナ禍においてボランティア活動に影響がある中、高齢者支援部会・障 がい者支援部会・子育て支援部会を実施し、日頃の活動に活かすため各 団体間で意見交換を行いました。 (専門機関部会) 地域のニーズに対応すべく各エリアでの取組を共有し、こうした取組みの 拡充のきっかけ作りを行いました。また、泉サポートプロジェクトの取組みを 多くの多様な主体と共有できるよう、規約や指針の整備を行いました。 (地区社協分科会) コロナ禍での地区社協の活動再開のために、情報提供や研修を通して支 援を行いました。分科会では、各地区の状況について情報交換を行って います。												

の推 柱 進	項 重 目 点	名 取 組	行動計画	振り返りの視点	実施回数・参加者数等 R2年度末現在	実施回数・参加者数等 R元年度末現在	(参考) 実施回数・参加者数等 H30年度末現在	実施主体	事業名・取組名	事業概要	令和2年度 実施計画	令和2年度 取組結果
			子どもの育ちや親の不安を支えていくための子育て課題を多様な視点から解決するため、子育て支援ネットワークによる関係機関との連携を進めていきます。	区域・ケアプラザエリアの実施回数 ネットワーク連絡会議の取組	【こども家庭支援課】 区域1回 23人 エリア別 54回	【こども家庭支援課】 (2月現在) 区域2回 78人 エリア別 72回	【こども家庭支援課】 区域2回 エリア別55回(1月末時点)	区こども家庭支援課	子育てネットワーク支援事業	泉区のひとりひとりの子どもの育ちと親を支えていくために必要な子育て課題に対し、関係機関の連携により、課題解決を進めていくことを目的として、地域別5エリア、区域での子育て支援ネットワーク連絡会を開催します。	【こども家庭支援課】 泉区子育て支援連絡会、エリア別子育て支援ネットワーク連絡会の実施	(子育て支援連絡会) 子育て支援連絡会を実施し、区からコロナ感染症対策について説明しました。また、支援者間でコロナ禍での活動状況を共有し、感染対策を講じたサロン再開、運営継続ができるよう支援しました。  (エリア別ネットワーク) エリア別ネットワークを区域で実施し、活動情報を共有を行いました。エリア別ネットワークの支援を区社協・子育て支援拠点と連携し、行っています。エリアネットが主体的に各地区の子育て支援を検討できるよう支援が必要です。
2	2	1	地域の様々な団体や民間企業等と協働し、当事者の社会参加・自己実現を進めている泉区障害福祉自立支援協議会を支援します。	連絡会から発展した取組	【障害者支援担当】 ・総会 1回(書面開催) ・協議会 1回(書面開催) 7部会 延べ 26回	【障害者支援担当】 ・総会 1回 協議会 2回 ・7部会 延べ 64回 日中活動部会と区社協、区役所と共催で、福祉の作品展に合わせて、自主製品の販売と障害理解啓発の取り組みを実施した。	【障害者支援担当】 ・総会 1回 ・7部会2プロジェクト 延べ95回 日中活動部会と区社協、区役所と共催で、福祉の作品展に合わせて、自主製品の販売と障害理解啓発の取り組みを実施した。	区高齢・障害支援課	泉区障害福祉自立支援協議会の支援	区内の障害団体や障害福祉サービス事業所等の連携強化を目的としたネットワークを行います。	【障害者支援担当】 泉区障害福祉自立支援協議会の総会、協議会、障害のある当事者の情報交換・余暇活動の支援や事業者等のスキルアップなど、テーマごとに7部会を開催します。	【障害者支援担当】 【障害者支援担当】 感染拡大に伴いかなりの回数を中止または書面開催とした。部会によってはリモート開催も併用した。
			高齢者の自立を支援し、地域で高齢者を支えるネットワークを強化するため、地域ケア会議を開催して個別ケースの課題分析等を積み上げ、地域の課題を把握することで、課題解決のために必要な社会資源の開発・地域づくり・市の政策への反映等につなげていきます。	ケア会議の開催数 ケア会議からの課題整理、取組事例	【高齢者支援担当】 区レベル :1回 参加者39人 包括レベル:5回 参加者73人 個別レベル:4回 参加者89人 (下和泉) ・個別レベル1回:19名 ・包括レベル1回:12名 【上飯田】 個別レベル1回 包括レベル0回 (いずみ中央) ・個別レベルケア会議 1回実施。	【高齢者支援担当】元年度実績 区レベル1回 いずみ中央CP:個別レベル2回、包括レベル0回 下和泉CP:個別レベル1回・包括レベル2回 上飯田CP:個別レベル2回、包括レベル2回 踊場CP:個別レベル2回、包括レベル2回 新橋CP:個別レベル1回、包括レベル2回 いずみ野CP:個別レベル3回、包括レベル2回 岡津CP:個別レベル・包括レベル0回(※12月新設CP) 個別の地域ケア会議年3回、包括レベルを年2回実施し、昨年度からケア会議を実施し、移送について検討し協議体に繋げました。 (上飯田) ・個別レベル2回、包括レベル2回。	【高齢者支援担当】30年度実績 区レベル2回 いずみ中央CP:個別レベル3回、包括レベル1回 下和泉CP:個別レベル2回・包括レベル3回 上飯田CP:個別レベル2回、包括レベル2回 踊場CP:個別レベル3回、包括レベル2回 新橋CP:個別レベル1回、包括レベル1回 いずみ野CP:個別レベル3回、包括レベル2回	区高齢・障害支援課	地域ケア会議	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる体制がある地域づくりを行います。会議は区域・包括支援センターエリアで実施します。	【高齢者支援担当】 会議開催数:区役所主催で区レベル地域ケア会議2回 区内地域包括支援センター主催で個別ケース地域ケア会議をおおむね3か月に1回開催、包括レベル地域ケア会議を年2~3回を目安に開催予定。 個別地域課題解決、ネットワーク構築、地域課題発見、地域づくり・資源開発などを目指します。 (いずみ野) 個別レベル3回、包括レベル2回実施し、エリアの「あったらいいな」と思うことを検討していきます。 【上飯田】 個別レベル2回、包括レベル2回	【高齢者支援担当】 「高年齢者」は、地域でのつながり～通いの場活動継続のために～」をテーマに講演、事例紹介、意見交換を実施しました。包括レベルでも、コロナ禍での地域活動の再開に向けてのテーマを取り上げています。個別レベルでは、認知症がテーマになっています。いずみ野もコロナ禍で開催が普及できていない状況です。 地域の担い手として、地区社協役員や地域包括支援センター、生活支援コーディネーターに参加していただき、通いの場活動再開に向けての工夫、課題の共有、関係者との取組について意見交換を行いました。通いの場の必要性について理解し、再開に向けての取組について話し合いました。 (いずみ野) 個別レベル3回は実施せず、包括レベル2回実施した。 (岡津) 個別レベル1回、包括レベル1回 (下和泉) ・個別レベル会議:独居認知症高齢者であるYさん個人の現状やご本人を取り巻く地域の関係者、関係者のつながりについてメンバー間で共有し、Yさんの支援方法について検討した結果、ご本人の居場所づくり、生活支援、話し相手、見守り部分について参加メンバーで役割分担を行い、その後の実践につなげました。 包括レベル会議:コロナの影響により地域活動団体による高齢者の食事会が中止になっていましたが、コロナ後の中でも様々な工夫や感染対策を行うことで活動を再開する方向になりました。 (いずみ中央) ・関係性の強い町内会を対象にして、ケア会議を実施、町内会の特性や顔の見える関係づくりにつながった。
3	1	1	地域活動への参加がすすむまち	講座の企画・実施	【区社協】 ・高齢者への車いす介助入門講座 ・泉区ボランティア入門講座 ・高校生、大学生のためのボランティア講座(中止) ・音声訳ボランティア養成講座(中止) ・横浜シニア大学(中止) (区民ホール 出張ボランティアセンター) ・2日間	【区社協】 ・横浜シニア大学 ・ちよこことボランティア講座 ・読み聞かせボランティア養成講座 ・傾聴ボランティア養成講座 ・高齢者の理解講座  (区民ホール 出張ボランティアセンター) ・2日間予定するも中止	【区社協】 ・横浜シニア大学 ・視覚障がい理解講座(全3回) ・高齢者の介助入門講座 ・施設職員向けボラ担講座  (区民ホール 出張ボランティアセンター) ・3日間	区社協	これから地域に戻る世代を対象にしたボランティア団体、ボランティアの紹介、地区社協と連携して自分の技術や経験を活かせる場の開拓 ーこれから地域に戻る世代を対象にしたボランティア活動やボランティア団体の紹介	趣味や特技を活かしたボランティア活動ができるよう、世代の特性にあわせた講座を開催します。	【区社協】 ボランティアや地域住民の活動に関する様々な相談に応じ、地域福祉活動を支える人材確保・育成のため、テーマ別・対象別などのボランティア講座を移動情報センター等と連携し実施します。	【区社協】 ・連年で開催したボランティア入門講座では、参加者のニーズを個別に対応し、ガイドボランティアなどに多くのボランティアを紹介することができました。また、高齢者理解講座では、車いす体験など実際に身体で体験しながら理解を深め、ボランティア活動に活かす講座を実施しました。
			地域での新たな担い手を養成する	講座からつながった担い手の活動	開催せず	【事業企画担当】 あなたの力発揮！応援フェアの開催 (8/20・21)300人の集客	・平成30年度ボランティア養成講座リーフレット配布数 3000枚	区福祉保健課	担い手発掘に向けた取組	対象者の関心のあるテーマを設定し、より担い手の活動につながる講座内容を企画・実施します。	【事業企画担当】 あなたの力発揮応援フェアの継続開催	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、中止となった。
			地域での新たな担い手を育成するため、これから地域に戻る世代(50~60代)を対象とした講座を開催します。	講座の企画・実施	【岡津】 ダンディヨガ 全15回 10名 【上飯田】 男性の料理教室や麻雀懇親会を通じた担い手育成は実施できず。 (新橋) 広報誌2回 各1700部 (いずみ中央) ボランティア研修会 1回 11名	(新橋) 団体交流会でのボランティア講座 1回30名 広報誌でのボランティア特集 1回1700部 いずみ野> ①シルバー世代の男性を対象とした料理教室「男飯」を東京ガスエコモ共催で実施しました。(隔月・全6回・50名) ②地域活動につながるきっかけづくりとして、メンズ体操教室を開催しました。参加者の中から2名の方が、10月に開催した健康フェスティバルに測定ボランティアとして活動しました。(1月1回・全12回・86名) (上飯田) ・上飯田麻雀懇親会年2回実施(踊場) とことんそば打ち 21回 168人	(いずみ中央) シニアポイント登録研修会。1回14名 (いずみ野) ボランティア講座「ボランティアはじめての一步」⇒中止(参加人数が集まらず) (上飯田) 男性の為の料理教室 全6回 36名 麻雀大会(ボランティア養成講座)全2回 (新橋) 実施なし 実施なし 男性担い手発掘事業「俺のそば打ち」開催7月~1月 (いずみ野) ボランティア講座「ボランティアはじめての一步」⇒中止(参加人数が集まらず) (下和泉) 1回 20人	地域ケアプラザ	ボランティア講座の企画・実施	ボランティア講座を行い、地域で活動する担い手を養成します	【(新橋) 団体交流会でのボランティア講座 年1回 (いずみ野) ①シルバー世代を主に対象とした男性料理教室「男飯」を開催します。(隔月・全6回) ②「男飯」に参加されている方を対象に、調理活動を通じて地域活動に繋がることを目的とした男性料理教室「極飯(きわみめし)」を開催します。(隔月・全6回) ③地域活動を行うためにきっかけづくりとして、まずはケアプラザに在所してもらうために、シルバー世代の男性を対象とした「メンズ体操教室」を開催します。(毎月開催・全12回) (いずみ中央)シニアボランティアポイント登録研修会実施予定。 (下和泉) シニアボランティアポイント説明会を実施し担い手発掘を行います (上飯田) 主に男性の地域活動参加を促す目的と、地域の担い手作りを目的に男性の為の料理教室(年6回)、健康麻雀交流会(年2回)を実施予定です。 (踊場) 「とことんそば打ち」開催と合わせて、自主化した「いずみ中田の蕎麦打ち会」も支援継続していきます。 (岡津) 定年退職後の男性を対象に「ダンディヨガ」を開催し、地域活動に参加するきっかけづくりを行います。 よこはまシニアボランティアポイント登録研修会の開催 年2回	【いずみ野】 ①「男飯」隔月・全6回の計画を立てていたが、開催場所の東京ガスいずみ野が閉店となったことで、東京ガス職員の講師依頼が出来なくなり、コロナ禍も重なり、2年度は開催に至らなかった。 ②「極み飯」隔月・全6回の予定していたが、コロナ禍で4月・6月は休止し、8月・10月・12月・2月の4回、感染対策に努め、開催することができた。登録者定員5名のうち、2名の参加。 ボランティア1名が全員参加した。 和泉小学生在が高齢者のために作ったレシピを利用する回もあり、参加者にも喜ばれた。 ③「メンズ体操」は、ケアプラザが再開後、7月より復活。令和3年1月まで実施したが、緊急事態宣言が出たために、それを降は中止。延べ57名の参加があった。次年度も男性を対象にした事業は継続していく。 【岡津】 よこはまシニアボランティアポイント登録研修会を開催予定でしたが、緊急事態宣言が発令されたことにより中止となりました。 ・定年退職後の男性を対象に「ダンディヨガ」を開催し、コミュニティの場の提供を行いました。R3年4月より自主活動グループとなり、地域活動にもつながるよう支援を行います。 (下和泉) 説明会は実施できませんでしたが、広報誌を紹介した周知と個別での支援を行ってきました。 【上飯田】 男性に料理教室も麻雀懇親会いずれも、新型コロナウイルス感染症状況を鑑みて実施ならず (新橋) 広報誌で情報の発信を行った。 番号「ボランティアのすすめ」、秋号「新しい生活様式～それぞれの流儀」として地域活動の再開を促す記事を特集した。 (いずみ中央) 自主事業のボランティアの方を対象に、感染症についての講義と手洗いチェックを用いての洗い直しチェックを実施。感染症について改めて学んで頂き、事業再開に向けて知識の共有、不安の解消を目指した。手洗いや

の推 柱進	項重 目点	名取 組	行動計画	振り返りの視点	実施回数・参加者数等 R2年度末現在	実施回数・参加者数等 R元年度末現在	(参考) 実施回数・参加者数等 H30年度末現在	実施主体	事業名・取組名	事業概要	令和2年度 実施計画	令和2年度 取組結果
3	1	1	<p>趣味を楽しむことや、仕事で得たスキルを活かした活動が始められるような講座を開催し、地域で仲間と一緒に楽しむ機会を設けます。</p>	<p>ボランティアマッチングの仕組み</p> <p>地区社協と連携した取組 →地区社協やケアプラザと連携した取組</p>	<p>【区社協】 ・高齢者への車いす介助入門講座の実施 ・横浜シニア大学(中止) ・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、地区社協のてびき研修の実施はなし</p>	<p>【区社協】 ・地域ケアプラザでボランティア活動についての講話実施 ・ちよこっとボランティア講座の実施 ・高齢者の理解講座の実施 ・地区社協のてびき研修の実施(4地区)</p>	<p>【区社協】 ・いずみオト・ナcollegeの振り返り ・ボランティア更新アンケートで現在活動していない会員の整理 ・地区社協のてびき研修の実施</p>	区社協	<p>これから地域に戻る世代を対象としたボランティア団体、ボランティアの紹介や、地区社協と連携して自分の特技や経験を活かせる機会の提供 →ボランティア活動ニーズのスムーズなマッチング ケアプラザエリアを単位としたボランティア講座の開催</p>	<p>ボランティアセンター窓口でも、趣味や特技を活かせるようなボランティアの紹介がスムーズにできるような仕組みを作ります。</p> <p>趣味や特技につながる講座の開催や、地域のサロン等で披露する機会など、生活支援コーディネーターや地区社協等と連携して活動の場を提供します。</p>	<p>【区社協】 ・区社協窓口でのボランティアコーディネートを行います。 ・出張ボランティアセンターによるボランティア相談を実施します。 ・住民同士の助け合い「ちよこボラ」活動団体の立ち上げ支援を行います。 ・地区担当職員と連携した活動支援を行います。</p>	<p>【区社協】 ・ボランティアセンターの個別相談や出張ボランティアセンターにおいて、ニーズや特技などに合わせたコーディネートを行いました。 ・コロナ禍において、ちよこボラの交流会を実施できませんでしたが、ボランティアコーディネート内にて活動の状況把握や、ボランティア保険など活動の支援を行いました。 ・地区社協のてびき研修は実施できませんでしたが、地区担当職員を通してそれぞれの地区社協の役割について地区へ伝えていきました。</p> <p>(いずみ野) 「はじめの一步」の講座は感染症の影響により中止、代わりに、シニアボランティア登録研修会の講師認定の講座を、生活支援Cと地域活動交流Cが受講し、シニアボランティア登録研修会をいずみ野地域ケアプラザで初めて開催した。(令和3年1月 7名参加)</p> <p>【岡津】 ・障害理解講座を予定していましたが、R3年度開催に延期しました。 (いずみ中央) 例年、シニアボランティア登録研修会を開催し、その中で障害児者への活動についてお伝えしてきたが令和2年度はコロナ禍のため、登録研修会を実施せず、また、障害児者の余暇支援事業も対応をさけ、音声を通じての活動をメインに行ったため、そちらへの参加も盛んできなかった。</p> <p>【区社協】 ・音声訳ボランティア講座は実施にあたり、開催支援を行っていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により延期となりました。 ・ガイドボランティア養成研修は、活動に取組みたい、または関心がある方を対象に開催しました。ガイドボランティアを利用している人やその家族、支援者を講師に招き生活に欠かすことのない移動支援について理解を深めました。 【上飯田】 コロナ禍でも、高齢者サロン事業を可能な限り実施し、その中で近隣の障害施設とのふれあいの機会を造った</p>
			<p>障害者の理解と活動のサポートをする担い手の育成として、ボランティア講座を実施します。</p>	<p>ボランティア講座参加者数</p>	<p>【区社協】 【ボランティアセンター】 ・高齢者への車いす介助入門講座…1回(9名) ・音声訳ボランティア養成講座(中止) 【移動情報センター】 ガイドボランティア育成のための連続講座…1回目(10人)、2回目(12人)</p>	<p>【区社協】 ・セーフティプロジェクト横浜出前講座3回 【ボランティアセンター】 ・ボランティア入門講座…2回(延べ10人) ・二俣川看護福祉専門学校…1回(49人) ・横浜シニア大学…1回(26人) ・ちよこっとボランティア講座…全3回(延べ48人) ・読み聞かせボランティア養成講座…全6回(延べ69人) ・傾聴ボランティア養成講座…全4回(延べ20人) ・高齢者の理解…1回(14人)</p>	<p>【区社協】 ・セーフティプロジェクト横浜出前講座5回 【ボランティアセンター】 ・視覚障がいの理解…3回(述べ27人) ・高齢者の理解…1回(7人) 【移動情報センター】 ・ガイドボランティア講座～知的障がい理解編…1回(12名) ・ガイドボランティア交流会…1回(8名) ・障害のある人のボランティア養成講座…1回(19名)</p> <p>(下和泉) 1回 防災拠点での障害者理解 30人(上飯田) ジュニアフレンド夏季事業 ボランティア8名(いずみ野) ボランティア講座「ボランティアはじめての一步」⇒中止(3/9参加人数が集まらず)(いずみ中央) ・シニアボランティアポイント登録研修会1回 14名 ・ジュニアフレンド 1回 19名(参加ボランティアへ障害についての講義) (新橋) 団体交流会に区社協の山口さんに参加していただき、障害児者に対するボランティアの現状と移動支援の担い手を募集している旨参加者に話す時間をとった。(踊場) ・視覚障がいの理解3回37人 ・障がいボランティア講座1回23人</p>	区社協 区 地域ケアプラザ	<p>ボランティア講座の企画・実施</p>	<p>【区社協】 生活支援体制整備事業、ボランティアセンター、あんしんセンター、移動情報センター等で把握した課題の解決を目指したボランティア講座を開催します。</p>	<p>【区社協】 テーマ別・対象別などのボランティア講座を移動情報センター等と連携し実施します(再掲)。 ・音声訳ボランティア養成講座 ・ガイドボランティア講座 ・障がい理解講座等 (新橋) 団体交流会でのボランティア講座 1回/年 (いずみ野) ボランティアへ！はじめの一步を開催(ボランティア講座・年1回・3月実施) (上飯田) ・障がい児余暇支援事業をヘルスマイトと開催します。 ・継続して自主事業サロンと近隣障がい者施設とのふれあいの機会を持っています。 (岡津) 障害理解講座の開催 年1回</p>	

の推 柱進	項重 目点	名取 組	行動計画	振り返りの視点	実施回数・参加者数等 R2年度末現在	実施回数・参加者数等 R元年度末現在	(参考) 実施回数・参加者数等 H30年度末現在	実施主体	事業名・取組名	事業概要	令和2年度 実施計画	令和2年度 取組結果
		2 担 い 手 と 地 域 活 動 の コ ー デ ィ ネ ー ト	地域デビュー講座や担い手育成の講座を修了した人が、地域で活動している団体や活動グループに参加できるようコーディネートします。	ボランティア紹介結果数 スムーズな活動につながった事例	【区社協】 ・紹介件数(33件) ・情報提供(1件)	【区社協】 ・108件 ・情報提供(6件)	【区社協】 ・95件(2月中旬) ・情報提供(18件)	区社協	ボランティアセンターの運営	ボランティアグループの紹介や、ボランティアネットワークとの連携を通して、ボランティアを始める方がスムーズに活動につながるよう支援します。	【区社協】 ・ボランティア登録から活動にいち早くデビューしてもらうための入門講座を開催します。	【区社協】 ・通年で実施したボランティア入門講座において、講座終了後に個別でコースを聞き取り、希望に沿った活動ができるようコーディネートを行いました。
			地域デビュー講座や担い手育成の講座を修了した人が、地域で活動している団体や活動グループに参加できるようコーディネートします。	コーディネートの取組	【区社協】 ・個人 16名 6団体 (下和泉) 男のかんたんクッキング 10名 【上飯田】 男性の料理教室や麻雀懇親会を通じた担い手育成は実施できず (いずみ中央) 下和泉地区センター主催講座「美味しい珈琲の淹れ方」 ducksメンバー 8名が参加	(新橋) 団体・個別コーディネート29名 (いずみ野) ボランティア交流会を実施し、ボランティア同士の情報交流や、ケアプラザでボランティアの受け入れを行っている事業の紹介を行いました。(6/8・17名) (新橋) 子育て世代のお父さん講座を実施 5名参加 「男のクッキング体験講座」実施 5名参加 (上飯田) ・上飯田麻雀懇親会 年二回実施 ・ボランティア会食会 年二回実施 (踊場) 個別での相談・グループでの相談会 適宜行った。	(いずみ中央) シニアポイント登録研修会 1回14名 男性の介護及び認知症予防や地域に出るきっかけ作りを目的とした講座を実施し、新たに珈琲ボランティアの活動をスタートし、4ヶ月で4件の依頼を受け実施しました。 ducksの主催する講座がきっかけとなり施設でのボランティア(シーツ交換)を行う方もいました。 (下和泉) 2回男性向け講座参加から担い手参加につながる2名 (上飯田) ボランティア感謝会 一回 27名 ふれあい連絡会 1回 54名 (新橋) ・団体交流会 1回・25人 ・ボランティア募集チラシの発行と掲示・配架 (踊場) ・障がいボランティア講座 ・個別での声掛け (いずみ野) ボランティア感謝祭の開催(6/10)11名参加	地域ケアプラザ	ボランティア活動団体、ボランティアネットワーク等と連携したボランティアコーディネート	ボランティアグループの紹介や、ボランティアネットワークとの連携を通して、ボランティアを始める方がスムーズに活動につながるよう支援します。	(新橋) 団体・個別コーディネートを継続して取組む (いずみ野) ・ボランティア交流会を実施し、ボランティア同士の情報交換の場や、ケアプラザ及び地域に関するボランティア活動の情報提供や活動への支援を行います。 ・令和2年度6月に外出支援のボランティア組織の構築に向けて、「お出かけ手伝い隊」のボランティアを募集します。付き添いがあれば外出が出来る高齢者の外出支援について、ボランティアや地域の関係機関と連携し、具体的な実現に向けて進めていきます。 (下和泉) 「男のクッキング」体験講座を行います (上飯田) 主に男性の地域活動参加を促す目的と、地域の担い手作りを目的に男性の為の料理教室(年6回)、健康麻雀交流会(年2回)を実施予定です (踊場) いつでもつないでいけるように、受け入れ先と連携を切らさないことを心がけます。 (岡津) ボランティア活動に関する情報提供や活動の紹介を行います。	【岡津】 ケアプラザ通信や屋外掲示板にて、ボランティア募集を行い自主事業や在宅でできるボランティア活動の場の提供を行いました。またケアプラザで団体登録をしている団体に対しても、ケアプラザ祭りの準備等でボランティア活動をしていただきました。 (下和泉) 男のクッキング体験を通して、男性主体のボランティア活動を発信しました。 【上飯田】 男性に料理教室も麻雀懇親会いずれも、新型コロナウイルス感染状況を鑑みて実施ならず (いずみ中央) 地区センター主催のコーヒー講座において「ducks」メンバー有志が講師となりコーヒーの淹れ方を教える。
			地域で行われている活動をまとめ、活動の参考となるよう、情報を整理し、提供します。	情報提供方法の工夫	【区社協】 ・かわら版発行 年2回 ・きらぼら泉発行 年1回 ・区社協広報紙年3回 (うちタウンニュース紙年1回) ・移動情報センター通信1回	【区社協】 ・かわら版の発行年2回 ・きらボラ発行年3回 ・区社協広報紙年3回 (うちタウンニュース紙年1回) ・移動情報センター通信1回	【区社協】 ・かわら版の発行年2回 ・きらボラ発行年3回 ・区社協広報紙年3回 ・タウンニュース誌年1回 ・移動情報センター通信1回	区社協	地域で行われている活動に情報提供	新たな担い手を増やしたり、現在活動している人の参考になるように、地区社協やボランティアグループ等地域で行われている活動をまとめた紹介冊子等で、地域情報を提供します。	【区社協】 ・かわら版の発行年2回 ・きらボラ発行年3回 ・区社協広報紙年3回 (うちタウンニュース紙年1回) ・移動情報センター通信1回	・区社協広報紙「区社協だより泉」を年2回発行に加え、タウンニュース号の発行を継続しました。コロナ禍でも工夫して活動する地域の取組や事業所の取組を紹介しました。ボランティアセンターや移動情報センターなど各事業で広報紙を発行しました。区役所や地域ケアプラザなどに配架しました。



の推 柱進	項重 目点	名取 組	行動計画	振り返りの視点	実施回数・参加者数等 R2年度末現在	実施回数・参加者数等 R元年度末現在	(参考) 実施回数・参加者数等 H30年度末現在	実施主体	事業名・取組名	事業概要	令和2年度 実施計画	令和2年度 取組結果
す む ま ち	成 す る	支 援	各種講座の終了後に自主活動のグループ化につながるよう、活動グループの立ち上げや、運営方法等の支援を行います。	グループ数、参加者数	【高齢者支援担当】 継続11カ所 活動回数188回 延べ2,727人参加 (岡津) ・ダンディヨガ 15回 延べ参加人数118名 ・ナイトヨガ 12回 延べ参加人数114名 (上飯田) ・健好クラブ 29回 341名 ・妻の会 16回 218名 (新橋) 健康畑ひまわり3回 延べ参加人数37人 ふまねっと4回 延べ参加人数37人 (いずみ中央) コロナ禍のためイベント開催なし。	【高齢者支援担当】 ・継続12グループ (新橋)健康畑ひまわり11回 延べ参加人数189名 ふまねっと14回 延べ参加人数253名 (いずみ野) 元気づくりステーション「おはなしほけつと」が月に2回 計21回実施。12回を保育園とグループホーム、特別養護老人ホームでの読み聞かせの活動をおこない、その支援を行いました。(新型コロナウイルスの関係で3回分の活動は中止となった。) (下和泉) ・元気づくりステーション「下和泉麻雀クラブ」32回 延べ参加人数1129名 ・元気づくりステーション「歌ごえサポーターズ」48回 延べ参加人数845名 (上飯田) ・健好クラブ 44回 496名 ・妻の会 21回 474名 ・スマイル 18回 119名 (踊場) 元気クラブ 中村健康マージャン すこやかサロン	【高齢者支援担当】・継続9カ所 4,154人参加 ・H30年度新規 3カ所 元気づくりステーション「しもずく歌声サポーターズ」「スマイル」「妻の会」 【継続】 (いずみ中央) ・よくばりクラブ 31回・延333人 (下和泉) ・しもずく健康づくり講座10回 延べ参加人数179名 (上飯田) 健好クラブ 48回 628人 スマイル 24回 172人 妻の会 24回 570人 (いずみ野) ・おはなしほけつと 27回・延243人 (新橋) 【継続】元気づくりステーション「健康畑ひまわり」活動支援5回・104人「ふまねっとサークル」活動支援3回・60人	区高齢・障害支援課 地域ケアプラザ	元気づくりステーション	高齢者が歩いて行ける身近な場所で、健康で生きがいのある行動を目指します。	(再掲) 【高齢者支援担当】 介護予防の必要性と具体的な取組内容について啓発を行います。グループ活動を通し、高齢者が地域の中で人とつながりながら健康で生きがいのある活動的な生活を送れることを目指します。 ・元気づくりステーション継続11グループの活動支援を行います。また、各グループに対し、活動継続のための人材育成研修(市作成プログラム「パートナー研修」)の実施を行います。 ・新規グループ立ち上げ支援1件(岡津地域ケアプラザエリア)を検討します。 ・元気づくりステーションの活動を紹介したMAPの情報更新及び配布、パネルの常設展示を行います。 ・元気づくりステーション連絡会の実施(元気づくりステーションの活動意義の説明、活動内容共有、スキルアップ研修等)を検討します。  (新橋) 健康畑ひまわりの会場予約代行を行い、活動が円滑にできるよう支援します。 ふまねっとへの会場貸出しを行ない、活動が円滑に出来る様支援します。 (いずみ野) 「おはなしほけつと」が月に2回活動している。1回は練習、もう1回は午前保育園と午後はグループホームやまももと白寿荘での絵本の読み聞かせをしているので支援をしていきます。 ・地域のサロンやシニアクラブなどに目標、月15ヶ所参加します。また活動が衰退しているサロンの支援をしていきます。 (上飯田) ・元気づくりステーションの活動が円滑に運営できるように支援する。 (踊場)元気づくりステーションが継続開催できるように、区役所と情報共有しながら、後方支援を行います。 (岡津)元気づくりステーションのねらいに沿った立ち上げの支援を検討します。	【高齢者支援担当】 区内の元気づくりステーションは、休止の時期もあり、参加者は減少していますが、活動は継続できています。活動のスキルアップを行うため、パートナー研修やセラピストによる講義等を予定していましたが、コロナ禍でほぼ中止となっています。感染症予防に努めながら、普段の活動を継続できるよう支援することが中心となりました。 地域の自主活動も自粛する所が多くなりました。感染症予防の講話を行う等、活動の再開を支援しましたが、地域により開催のペースが緩んでいます。 (いずみ野) ・「おはなしほけつと」は、元気作りステーションとして活動しているがコロナ禍のため、保育園や高齢者施設を訪問できなかったが、ケアプラザの自主事業である、「いこいのいずみ」に活動を発表してもらい、好評であった。 ・地域のサロンやシニアクラブなども感染症の影響により、中止を余儀なくされているところも多く、月15回の訪問については実施出来なかった。また、再開したサロンやシニアクラブでもコロナ禍の中での活動に悩むところもあったため、相談に乗りながら、次年度以降も継続的に支援をしていく。 (岡津) 元気づくりステーションのねらいに沿った活動が停滞してしまっただけ、次年度に検討します。 ・GOO健康講座「ハマトレ」16回参加者延べ127名 ・栄養編2回 参加者延べ13名 口腔編2回 参加者延べ8名 ・コグニティブ講座1回 参加者9名 介護予防活動の普及啓発に努めました。 ・ケアプラザの自主事業として開催した「ナイトヨガ」「ダンディヨガ」を令和3年4月より自主活動グループとして活動ができるよう支援しました。 (上飯田) ・活動が円滑に運営できるように相談に応じながら支援しました。 (新橋) 健康畑ひまわりの会場予約代行を行う。 ふまねっとへの会場貸出し、活動の後方支援を行う。 (いずみ中央) ・コロナ禍のため、新規活動の立ち上げ支援や自主活動を継続していたための活動支援連絡会等の開催です。
2 地 域 の 活 動 に 関 心 を 持 つ 人 を 増 や す	1 情 報 地 域 信 息 情 報 や 活 動 に 関 す	地 域 の 状 況 や 行 わ れ て い る 活 動 が 的 確 に 伝 わ る よ う、 対 象 や 内 容 を 明 確 に し な が ら、 様 々 な 媒 体 を 活 用 し た 情 報 発 信 を 行 い ま す。	地域活動の情報発信への取組	【事業企画担当】 元気の出るまち泉連載(年4回、予定通り)	【事業企画担当】 元気の出るまち泉連載(年4回、予定通り)	【事業企画担当】 元気の出るまち泉連載 年5回(予定通り)	区福祉保健課	地区別計画の取組紹介(広報よこはま泉区版)	広報よこはま泉区版の地域福祉保健計画の連載をはじめとした、地域の取組を発信します。	【事業企画担当】 広報よこはま泉区版の「元気の出るまち泉」で年4回、地域の地域福祉保健計画の取組を連載し、情報発信し、計画推進の一助とします。	【事業企画担当】 元気の出るまち泉では各地区の取組の一部を紹介し、またイベントの紹介などを行うことで地域福祉保健計画の推進を行った。	
			すきっぷ通信、メルマガの発信	【子ども家庭支援課】 すきっぷ通信 12回 メルマガ配信 64回	【子ども家庭支援課】 令和元年度 すきっぷ通信 12回 メルマガ配信 88回 【2月末現在】	平成30年度 すきっぷ通信 12回 メルマガ配信 93回	区子ども家庭支援課	地域子育て支援拠点事業	子育て支援に関する情報を拠点「すきっぷ」を通じて区民に情報発信を行います。	【子ども家庭支援課】 養育者支援のため、子育て支援に関わる情報をメルマガやすきっぷ通信、WEBやSNSといった様々な媒体を通じて提供します。	養育者支援を目的に、地域子育て支援拠点がホームページやSNSを積極的に活用し、情報発信できるよう区は取組し、後方支援に努めました。	
			地域を知り、参加するきっかけを作るため、地域の活動を周知するためのイベントを企画・開催します。	イベントをきっかけとした取組	【事業企画担当】 ・第3期泉区地域福祉保健計画推進イベント(2/24日～25日・延べ110人)	【事業企画担当】 ・第3期泉区地域福祉保健計画推進イベント(2/26日～27日・延べ150人)	【事業企画担当】 ・第3期泉区地域福祉保健計画推進イベント(2/26日～28日・延べ350人) ・活動発表会(3/7・57人)	区福祉保健課	地域福祉保健計画推進イベントの開催	地域の福祉保健活動を知り、活動に参加するきっかけづくりのイベントを開催します。	【事業企画担当】 第3期泉区地域福祉保健計画の周知および地域活動についての紹介を区民ホールで行います。	【事業企画】2月末に区民ホールを利用して、パネル展示を行うとともにワークショップを開催した(約110名の集まり)
			イベントをきっかけとした取組	・第3期泉区地域福祉保健計画推進イベント(2月24・25日)パネル展示 ・和泉川健康のみちオープンイベント(3/20・110名)	【健康づくり】 ・「みんなの健康アップ! フェスティバル」(6/6:234人) ・イトーヨーカドー立場店 健康測定会(6/11:65人) ・区民ふれあいまつり(11/3:アンケート400人) ・第3期泉区地域福祉保健計画推進イベント(2月26日)パネル展示、ヘルスマイト回転備蓄食品)	【健康づくり】 ・「みんなの健康アップ! フェスティバル」(6/7:198人) ・区民ふれあいまつり(11/3:アンケート400人) ・第3期泉区地域福祉保健計画推進イベント(2/26～28:生活習慣病予防パネル展示、ヘルスマイトの災害備蓄食品の活用)	区福祉保健課	健康づくりイベント	地域の健康づくりに関わる活動を知り、活動に参加するきっかけづくりのイベントを開催します。	【健康づくり】 ・「みんなの健康アップ! フェスティバル」(6/4) ・区民ふれあいまつり(11/3) ・第3期泉区地域福祉保健計画推進イベント(2月)	和泉川健康のみちオープンイベントでは新しく整備した遊歩道や、地域の活動団体の紹介の他、ウォーキング講座を開催しました。また開催にあたっては自宅などでも参加可能となるよう、東区役所で初めてとなるイベントのZoom配信を行いました。	
			団体活動を知るきっかけづくりの取組	【区社協】 ・ボランティアフォーラム開催(3/6～3/8) ・第3期地域福祉保健計画推進イベントにて出張ボランティアセンターの開設(2/24～2/25)	【区社協】 ・あなたの力発揮! 応援フェアに参加し、出張ボランティアセンターの開設 ・第3期泉区地域福祉保健計画推進イベントにてボランティア団体のPR展示(出張ボランティアセンターは中止) ・ボランティアフォーラム(中止)	【区社協】 ・ボランティアフォーラム来場者210名超し、出張ボランティアセンターの開設(第3期和泉区地域福祉保健計画推進イベントにて3日間)	区社協	ボランティアフォーラム等のイベントの開催	ボランティアネットワーク等のイベント開催への協力や、社会福祉大会等での発表等、団体の活動を周知し、参加するきっかけづくりを行います。	【区社協】 ・ボランティアフォーラムの開催 ・地域福祉保健計画推進イベントでボランティアネットワークのPRを行います。	【区社協】 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により例年のボランティアフォーラムの実施が難しくなりましたが、区内のボランティア団体の活動を広く周知し、活動を知るきっかけを作るため、団体の活動紹介の展示を行いました。 ・地域福祉保健計画推進イベントにおいて、ボランティアネットワークの加入団体のワークショップやパネルの展示を行い、活動の周知を行いました。	